

平成 25 年度
事業報告書

目 次

1 相談・広報	
（1）専門家派遣・窓口相談事業	4
ア 相談サービスの拡充	4
イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施	4
ウ 高度化診断助言の実施	5
エ 専門家派遣事業	5
オ 下請かけこみ寺事業	5
カ 小規模事業者巡回相談	6
（2）情報提供事業	6
ア クリエイティブ京都M&Tの発行	6
イ 財団ホームページによる情報発信	6
ウ メールマガジンによる情報発信	6
エ 財団パンフレットの発行	6
オ ビデオライブラリー	6
カ 新聞発表等による情報発信	6
（3）専門的・高度人材活用事業	7
ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導	7
2 経営課題の解決	
（1）市場開拓	8
ア 受発注情報提供事業	8
①受発注取引の適正化	8
②調査・情報の提供等	8
イ マーケティング支援事業	9
ウ 京もの市場開拓推進事業	10
エ 北京都ものづくり拠点構想推進事業	11
オ 京都伝統産業協働バンクの運営支援事業	11
カ 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業	12
（2）設備投資支援	12
ア 設備貸与事業	12
イ 中小企業等緊急経営応援事業	13
ウ 地域ものづくり企業設備投資支援事業	13
エ 育成型設備投資支援事業	13
オ 中小企業緊急電力コスト負担軽減事業	13
（3）人材の育成	14
ア 人材育成研修事業	14
イ 北部産業活性化拠点事業	14
ウ 事業後継者育成支援事業「経営者育成大学」	15
エ イノベーション促進雇用創出事業	15
オ 京都ものづくり中小企業正規雇用拡大推進事業	15
（4）IT（情報技術）の活用	16
（5）貿易・海外市場の進出	16
ア 京都企業アジア市場開拓支援事業	16
①上海代表処（京都府上海ビジネスサポートセンター）の相談実績	16
②日中ものづくり商談会	16

③京都ショップ中国展開支援事業	17
④海外メーカーとの取引あっせん	17
⑤物産系事業	17
イ 京都イタリア中小企業交流支援事業	19
ウ 海外ビジネスサポートセンター事業	19
①貿易、海外投資に係る相談	20
②セミナー	21
エ 上海常設展 日本京都館運営	21
オ 農産物輸出ビジネス支援事業	22
(6) 京都府中小企業応援隊事業	22
ア 中小企業ステップアップ事業	22
イ 中小企業等生産設備再建支援事業費	23
3 経営革新・企業の連携・新事業の展開	
(1) 経営・事業計画	24
ア 中小企業研究開発等応援事業受託事業	24
①京都府元気印中小企業認定、経営革新計画の承認の支援	24
②京都府元気印中小企業認定制度及び経営革新計画承認制度の普及・推進	24
③成長分野認定育成事業 中小企業研究開発等応援事業	24
イ 地域産業研究開発支援事業	25
ウ 知恵の経営の推進	25
エ 外国出願支援事業	26
(2) 起業・創業	26
ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業	26
イ 中小企業事業継続支援事業	26
ウ 京都ものづくり系企業人材確保・育成支援事業 企業開拓・周知委託業務	28
エ 中小企業事業継続支援雇用対策事業 周知・広報・管理委託業務	29
オ 地域需要創造型等起業・創業促進事業	30
カ ベンチャー支援事業関連審査等の実施	30
キ 京都経営品質協議会の運営支援	30
①京都経営品質協議会	31
②京都府アセッサー養成研修	32
③京都経営品質協議会ホームページの運営	33
(3) 企業連携	33
ア 京都企業戦略的共同研究推進事業	33
イ KIIC（京都産業創造クラブ）事業	34
①研究会（グループ）活動	35
②会員交流事業	37
ウ 異業種交流推進事業	37
①京都府異業種交流会連絡会議（22グループ）の運営支援	37
②異業種京都まつり	38
③グループ活動への支援	38
(4) 産学公連携	41
ア 交流連携促進事業	40
イ 産学公連携研究開発資金支援事業	41
(5) 試作産業総合支援事業	43
ア 試作パートナー企業グループの育成	43

イ	試作サポーターによる技術力・受注力向上の支援	44
ウ	試作新市場開拓の支援	44
エ	産学連携事業の実施	44
オ	その他	44
(6)	新産業育成・地域振興	45
ア	京都元気な地域づくり応援ファンド事業	45
イ	きょうと農商工連携応援ファンド事業	47
ウ	京都企業創造ファンド事業	49
エ	ベンチャーソフト支援事業	49
オ	農商工等連携支援事業の支援	50
カ	けいはんな・南部地域支援事業	51
(7)	京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト	52
ア	事業概要	52
イ	財団の取組	53
ウ	事業一覧	54
エ	事業実施状況	54
4	庶務	
(1)	理事会、評議員会	55
ア	理事会の開催状況	55
イ	評議員会の開催状況	55
(2)	第3次中期計画「3カ年の数値目標」の実績状況	56
(3)	人材育成研修	56
ア	派遣研修	56
イ	職員研修	56
ウ	スキルアップ研修会	57
(4)	会員の状況	57
(資料)		58

平成 25 年度公益財団法人京都産業 21 事業報告

1 相談・広報

(1) 専門家派遣・窓口相談事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

ア 相談サービスの拡充

平成 17 年 4 月から（公財）京都産業 21 と京都府中小企業技術センターが連携して京都府産業支援センターを構成し、その機能の一環である総合相談窓口を引き続き運営するとともに、25 年度からは事業継続支援センターや補助金支援グループの創設など相談対応の体制を充実した。中小企業等の様々の課題に対して、経営・技術の両面からワンストップサービスの相談に対応するとともに、専門家や各種の支援策の活用を図りながら、きめ細かく支援を行った。

表 1 相談企業数と業種別内訳

相談企業数	内 訳					
	製造業	卸売業	建設業	小売業	サービス業	その他
10, 821 社	6,801	74	82	272	1,351	2, 241
	62.9%	0.7%	0.8%	2.5%	12.5%	20.7%

※%は構成比

表 2 相談の総件数 12,471 件

内 訳							
経営全般	マーケティング	資金	法律	労務	税務	技術	ビジネス
3,496	1,832	375	30	726	34	130	311
28.0%	14.7%	3.0%	0.2%	5.8%	0.3%	1.0%	2.5%
IT	取引適正化	事業提携	会社設立	省エネ	ISO	特許	その他
52	79	144	2,047	474	14	98	2,629
0.4%	0.6%	1.2%	16.4%	3.8%	0.1%	0.8%	21.1%

※%は構成比

イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施

中小企業からの様々な日常的な相談に対応し、支援活動の拠点としての機能を高めるため、経営支援相談員を配置するとともに、毎週木曜日午後には専門家特別相談（専門家 3 名の交替対応）を実施した。

表 3 相談員別相談件数

区 分	担 当 者	開設日数	相談件数	支援内容
経営支援 相談員	伊地知 憲二 氏 元村田製作所知的財産部副参事	週 4 日	157 件	経営革新 47、創業 21、 技術 28、知財・その他 61

専門家特別相談員	西村 卓 氏 (有)アイディール取締役	51 日	76 件	20 件	創業 11、経営革新 5、 その他 4
	安田 徹 氏 京都総合税理士法人代表			30 件	創業 11、経営革新 1、 その他 18
	山崎 忠夫 氏 (株)ザ・プレーン取締役会長			26 件	創業 16、経営革新 3、 その他 7

ウ 高度化診断助言の実施

独立行政法人中小企業基盤整備機構の規程に基づく高度化事業に係る資金の貸付け等の利用者に対する診断助言を実施した。

また、組合等に参画の個々の組合員等に対しても財務診断助言を実施した。

表4 高度化診断助言の区分と件数

区分	小売商業等 商店街近代化事業	商店街整備事業	施設集約化事業	合計
件数	組合員 1 件	企業 1 件	組合 1 件	3 件

エ 専門家派遣事業

財団に登録した民間専門家（計 180 名）から中小企業の課題に適した専門家派遣を行い、診断・助言を実施した。（支援を完了した延べ企業数 128、派遣延べ回数 471 回）

利用企業の業種は、製造業 52.0%、サービス業 29.1%、その他業種 7.0%、小売業 6.8%、卸売業 3.0%、建設業 2.1%であった。

また、「経営の革新」に分類されるものが 89.8%であるが、創業関係が 10.2%と前年度（4.6%）に比して増加傾向にある。支援課題としては経営全般が多く、具体的な支援課題として、IT、税務、ビジネスプラン、ISO、マーケティング、労務に関するものが多かった。

利用後のアンケート調査では、100%が満足との回答であった（「満足」95.7%、「おおむね満足」4.3%）。

表5 専門家の分野別登録の状況

法律	4 名	経営全般	18 名	技術（化学）	4 名
知的所有権	4 名	経営戦略・マーケティング	33 名	技術（電気・電子）	2 名
創業・ベンチャー	14 名	情報システム	8 名	技術（食品）	3 名
資金調達・株式公開	4 名	環境管理	7 名	技術（繊維）	3 名
財務・税務	13 名	品質管理	4 名	デザイン・店舗設計	9 名
労務・人材開発	11 名	生産管理	6 名	その他	14 名
国際ビジネス	10 名	技術（機械）	5 名		
経営品質向上	3 名	技術（金属）	1 名		
					計 180 名

オ 下請かけこみ寺事業（公財）全国中小企業取引振興協会 受託金

（公財）全国中小企業取引振興協会の委託を受け、専任の常勤相談員を配置し、中小企業の取引に係るトラブル等の相談やアドバイス、下請法ガイドラインの説明会等を行った。

また、相談弁護士を配置し、無料法律相談を実施したところ、定期相談会のほか、かけこみ寺 in 京都ビジネス交流フェア、弁護士事務所での個別相談を含めて弁護士対応案件は、24件であった。

表6 かけこみ寺相談実績

下請法	建設業	その他	合計
18件	20件	23件	61件

- ◆定期移動相談会：毎月1回、京丹後市、綾部市、南丹市、亀岡市、久御山町の各会場で実施
- ◆下請法ガイドライン説明会： 2回 参加者合計 70人

カ 小規模事業者巡回相談（京都府 受託金）

小規模事業者に対して、専門家及び財団職員が巡回による経営相談・経営指導を行った。専門家による指導については、前年度に引き続き京都ビジネス交流フェアに出展する企業を対象に、セールスプロモーション手法等について指導・助言を行った。

巡回相談企業数 延べ29社、うち専門家派遣22社

(2) 情報提供事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

ア クリエイティブ京都M&Tの発行

京都府産業支援センターを構成する京都府中小企業技術センターと連携して、中小企業者等の経営・技術をサポートする情報誌「クリエイティブ京都M&T」をフロントページを刷新して発行した（5月号～翌年4月号まで 11回（7・8月は合併号） 各6,000部）。

イ 財団ホームページによる情報発信

中小企業者等の経営に有用な旬の情報をリアルタイムで提供した。
アクセス数：1,713,921件（月平均142,826件）

ウ メールマガジンによる情報発信

財団ホームページへの新規情報掲載を、週1回メールマガジンとして、登録者（3月末11,400名）に発信した。

エ 財団パンフレットの発行

財団の業務を紹介したパンフレット（4,500部）を作成し、財団業務のPRに努めた。

オ ビデオライブラリー

経営課題の解決に役立つビデオテープ（約2,100本）及びDVD（85本）を所蔵し、448本（内、DVD延べ178本）の無料貸出を行った。

カ 新聞発表等による情報発信

財団が行う事業の開催や調査の結果等について、随時新聞発表を行い、広く情報提供に努めた。（プレス発表 42回、新聞掲載実績 40回）

(3) 専門的・高度人材活用事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導

経営又は技術部門を統括した経験を有するビジネス・スーパーバイザー（3名）により事業計画の評価や助言・指導を実施した。

表7 ビジネス・スーパーバイザーが参加する審査会等

実施形態	回数	内容等
経営革新計画、応援条例等支援	20回	経営革新・応援条例計画プレゼンブラッシュアップ及び運営検討会
応援条例認定企業フォローアップ訪問	14社	認定企業を訪問支援
ベンチャー可能性評価委員会	5回	連携型イノベーション研究開発事業補助審査
けいはんな小委員会	7回	けいはんなインキュベーション入居等審査
技術顕彰連絡会	3回	技術顕彰審査等
定例ミーティング	16回	
その他の審査会等	13回	京都企業設備支援事業費補助審査等

2 経営課題の解決

(1) 市場開拓

ア 受発注情報提供事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

①受発注取引の適正化

専任の常勤相談員を設置し、中小企業の取引に係るトラブル等の相談やアドバイス等を実施するとともに、下請法の周知を図った。

財団顧問弁護士による取引適正化無料法律相談を毎月第2火曜日に行った。

相談実績 13 件

②調査・情報の提供等

◆発注企業動向調査

財団に登録している発注企業の動向を把握し、受注企業、関係機関、マスコミへ情報として提供するとともに、受発注取引あっせんの円滑な推進を図った。

表8 発注企業動向調査実績（郵送によるアンケート調査）

区分	調査時期	調査対象	回収率(%)
第1回	平成25年3月末現在	財団登録発注企業 153社	60.1
第2回	平成25年9月末現在	財団登録発注企業 149社	61.7

◆受注登録企業動向調査

財団に登録している受注企業の受注動向を把握し、受発注取引あっせんの円滑な推進を図った。

表9 受注登録企業調査実績（郵送によるアンケート調査）

	調査時期	調査対象	回答企業数	回収率(%)
第1回	平成25年6月末現在	財団登録受注企業 300社	227	75.7
第2回	9月末現在		225	75.0
第3回	12月末現在		214	71.3
第4回	平成26年3月末現在		216	72.0

◆北部地域の産業動向・景況の調査

北部地域機械金属業界景況動向の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表10 北部地域機械金属業界景況調査実績

	調査時期	調査対象	回答企業数	回収率(%)
第1回	平成25年6月末現在	北部企業284社	155	54.6
第2回	9月末現在	北部企業281社	157	55.9
第3回	12月末現在	北部企業280社	157	56.1
第4回	平成26年3月末現在	北部企業274社	164	59.9

◆丹後織物業の景況動向調査

丹後織物業景況動向の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表 11 丹後織物業景況動向調査実績

区 分	調査時期	調査対象	備 考
第1回	平成 25 年6月	産地機業等 17 社	訪問聴取方式
第2回	11 月	産地機業等 17 社	訪問聴取方式

◆室町・西陣和装市況調査

京都室町・西陣和装市況の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表 12 京都室町・西陣和装市況調査実績

区 分	調査時期	調査対象	備 考
第1回	平成 25 年 10 月	産地機業等 6 社	訪問聴取方式
第2回	平成 26 年 2 月	産地機業等 7 社	訪問聴取方式

イ マーケティング支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金等）

①取引あっせん

内需減退による厳しい環境が続き、既存の発注量は減少。現場主義による受発注登録企業の開拓や広域的な発注開拓を継続し取引あっせんに努めた。

表 13 登録企業数

区 分	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月		平成 26 年 3 月末	前年度末
	新規登録数	登録取消数		
発注企業	140(84)	8(0)	892(321)	760(237)
受注企業	54(0)	59(0)	2,188(56)	2,193(56)
合 計	194(84)	67(0)	3,080(377)	2,953(293)

() は他府県分で内数

この他、インターネットによる受発注取引情報提供システム（BPNet）登録企業数 1,284 社

表 14 受発注申出・あっせん件数及び相談件数

区 分	件数・金額	区 分	件 数
発注申出件数	444	取引あっせん相談	1,075
受注申出件数	542	経 営 相 談	341
あっせん件数	1,759	技 術 相 談	3
取引成立件数	88	苦情・紛争相談	103
当初成約金額	111,853 千円	そ の 他	566
		合 計	2,088

②京都ビジネス交流フェア 2014 の開催

府内中小企業の開発製品や加工技術をアピールする展示会「ものづくり加工技術展」「製品開発型・京都企業展」及び大手発注メーカー等との商談を行う「近畿・四国合同緊急広域

商談会」や、「ものづくり技術」「ライフサイエンス」などをテーマとしたセミナーなどによる「京都ビジネス交流フェア2014」を京都パルスプラザにおいて開催。

表 15 京都ビジネス交流フェア2014の実績とアンケート結果（展示）

開催日	出展企業等	来場者数	商談件数	来場者アンケート結果 (回収 2,801 枚)		
				参考に なった	参考に なら なかった	無回答
平成26年 2月20 ・21日	【展示】 ものづくり加工技術展：119社・14グループ 製品開発型・京都企業展：51社・2グループ 大学・金融機関・支援機関コーナー：28大学・機関 協賛出展：3社 【商談会】 発注企業 130社、受注企業 411社	9,200名 (前回 9,800名)	2,724件	97.2%	2.5%	0.3%

表 16 BPフォーラム実績

	参加者	延べ合計
京都“ぎじゅつ”フォーラム2014	174名	784名
京都ものづくりアライアンスフォーラム2014	180名	
ライフサイエンス・ビジネスセミナー	150名	
老舗フォーラム	280名	

- ③近畿・四国合同緊急広域商談会事業（公財）全国中小企業取引振興協会補助金 参加府県支援機関負担金）新規外注先・協力先を求める全国の手・中堅メーカー等と新規取引先を開拓したい近畿・四国の中小企業に出会いの場を提供するために実施。

開催日 平成26年2月20（木）・21日（金）

場所 京都パルスプラザ

参加申込発注企業 130社

受注企業 411社

商談件数 1,499件

- ④モノづくり受発注広域商談会（京都府補助金 京都中小企業成長促等総合支援事業補助金）大阪開催の商談会に共同主催者として参加し、京都企業に他府県での商談会参加の機会を提供し販路開拓支援を行った。

開催日 平成25年9月27日（金）

場所 マイドームおおさか（大阪市中央区）

主催 京都、滋賀、大阪（事務局）、和歌山、香川、徳島、高知、愛媛の財団

参加発注企業 50社

参加受注企業 242社（内、京都企業49社）

商談件数 322件

ウ 京もの市場開拓推進事業（京都府補助金 京もの市場開拓推進事業費補助金）

中小企業者が、自社の成長、発展を図るために実施する首都圏・海外をはじめとした販路開拓、新製

品開発等の取組みを支援した。

- ・補助率 2分の1以内
- ・補助金 100万円以内

表 17 京もの市場開拓推進事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
4月30日～5月31日	152	85	59,821

エ 北京都ものづくり拠点構想推進事業（京都府補助金 北京都ものづくり拠点構想推進事業補助金）

特色ある中小企業が数多く集積する中丹地域の特色を活かし、ものづくり企業がイノベーションに向けた成長を図り、中小企業の自己研鑽や企業間の水平的連携、進出大手企業等との連携を促進するため、次の事業に取り組んだ。

表 18 ニーズ技術意見交換会（商談会）の開催

開催日	開催場所	発注企業	受注企業数	備考
（事前説明会） 8月2日（金）	北部産業技術支援センター・綾部	オムロンソーシアルソリューションズ(株)	15社	意識改革セミナーを含む
8月29日（木）	オムロンソーシアルソリューションズ(株)（草津市）		8社	ニーズ技術意見交換会

表 19 南部企業との交流会

開催日	開催場所	南部企業	北部企業	備考
9月18日（水）	京都リサーチパーク	3社	10社	南部企業3社の取組事例紹介
10月23日（水）	城陽富士工業(株)本社工場及び平川工場	3社	6社	新規顧客獲得のための営業戦略、工場視察

企業訪問（中丹）

受発注案件の有無・内容、景況聞き取り等の調査のため、中丹地域で延べ212件の企業訪問を行い、その内マッチングした34件を受注紹介し、その内4件について商談が成約した。

研修

地元企業の開発・設計力を高めるため、大学教授等による専門講座の研修を延べ9日実施し、延べ83名の参加があった。

オ 京都伝統産業協働バンクの運営支援事業（京都伝統産業若手職人プラットフォーム事業補助金）

京都伝統産業協働バンク（100企業）では、参加工房を紹介する小冊子を作成するとともに、京都試作センター株式会社と連携し、工芸品の需要の掘り起しを行った。

そのうち、自主活動グループの工芸品修理・修復に特化したグループ（「京都職人修理ネット」）では、工芸品の“お直し”の需要に対応した結果、受注等の状況は、相談件数343件、成約件数258件、成約金額7,443千円であった。

①展示会等への出展

- ・第57回京都大アソシエーション 10月4日（金）～6日（日）京都パルスプラザ
- ・第17回異業種京都まつり 10月23日（水）ホテルグランヴィア京都
（京都試作センター株式会社ブース内にて）
- ・第58回京都大アソシエーション 3月28日（金）～30日（日）京都パルスプラザ

②『工芸品お直し無料相談会』開催

- ・定例工芸品お直し無料相談会 毎月第4水曜日に京都試作センター（株）において実施
（全12回）

③広報宣伝

- ・広報リーフレットの作成及び配布
- ・ホームページ（<http://densanbank.net/>）からの受注獲得

◆京都職人修理ネット例会等

- ・総会：平成25年4月16日（火）
- ・例会：10回開催。（原則、第2火曜日に財団会議室にて開催。）

カ 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業（新規 京都府補助金 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業費補助金）

「伝統と文化のものづくり産業振興条例」に基づき、産地組合や企業グループ等が実施する新商品開発や販路開拓、人材育成、制作実演などの取組みを支援した。

①販路開拓事業等

- ・補助率 2分の1以内

②制作実演事業

- ・補助率 4分の3以内

表 20 伝統と文化のものづくり産業総合振興支援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
5月7日～5月27日	46	45	63,729

(2) 設備投資支援

ア 設備貸与事業（京都府借入金、金融機関借入金）

設備貸与・リース事業の活用について、そのメリットのPRに努め、平成25年4月～26年3月までの事業実績は、17件 276,332千円であった。

表 21 設備貸与決定状況

区分	平成25年度実績		平成24年度実績	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
割賦	15	254,517	19	308,122
リース	2	21,815	4	56,338
計	17	276,332	23	364,460

イ 中小企業等緊急経営応援事業（京都府補助金 中小企業等緊急経営応援事業補助金）

平成26年4月の消費税改正を踏まえ、小規模企業者が実施する固定経費の軽減につながる機器導入や経営改善に繋がる事業に要する諸費用の一部を補助金交付により支援した。

交付企業 14社 交付額 3,582千円

ウ 地域ものづくり企業設備投資支援事業（新規 京都府補助金 地域ものづくり企業設備投資支援事業費補助金）

中小企業（製造業又は情報通信業）が実施する技術基盤を維持・発展し、生産性の向上を図るための設備投資の取組みを支援した。

- ・補助率 15%以内
- ・補助金額 30万円以上100万円未満

表 22 地域ものづくり企業設備投資支援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
5月20日～6月21日	8	8	3,568

エ 育成型設備投資支援事業（新規 京都府補助金 育成型設備投資支援事業費補助金・中小企業設備投資促進事業費補助金）

中小企業（製造業又は情報通信業）における技術基盤を維持・発展し、生産性の向上を図るための設備投資の取組みを支援した。

- ・コーディネータによる推薦書作成件数 59件
- ・補助率 (ア) アーリーステージ型コース 30%以内
(イ) 一般コース 15%以内
- ・補助金額 100万円（アーリーステージ型コースは30万円）以上1億円以内（アーリーステージ型コースは5,000万円以内）

表 23 育成型設備投資支援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
5月30日～7月12日	130	102	1,151,066

オ 中小企業緊急電力コスト負担軽減事業（新規 京都府補助金 中小企業緊急電力コスト負担軽減事業補助金）

電力コストの上昇による経営悪化に対応するため、中小企業者が行う、節電につながる省電力設備の導入に要する費用を補助し、企業の節電に対する取組みを支援した。

- ・補助率 2分の1以内
- ・補助金額 30万円以上100万円以内

表 24 中小企業緊急電力コスト負担軽減事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
4月22日～5月17日	567	311	191,220

(3) 人材の育成

ア 人材育成研修事業（人材育成研修事業収益）〈人づくり塾〉

中小企業の人材育成に資するため、新入社員研修及び中堅社員研修を実施した。

表 25 研修メニューと受講者数

開催日	講習名	受講者数
4月4～5日	新入社員研修	30名
11月27～28日	中堅社員研修（対象：中堅社員から管理職）	11名

新入社員研修のアンケート結果では、「仕事の役に立つか」の項目では「大いに満足」「満足」が100%、「期待に添うものであったか」の項目では「大いに満足」「満足」が87.0%と高評価を得た。

また、中堅社員研修のアンケート結果では、「仕事の役に立つか」の項目では「大いに満足」「満足」が91%、「期待に添うものであったか」の項目では「大いに満足」「満足」が100%と高評価を得た。

なお、新入社員フォローアップ研修は最少開催人数に満たず中止した。

イ 北部産業活性化拠点事業（京都府補助金 京丹後市補助金等）

①北部地域における緊急雇用安定助成金申請企業向け教育訓練

京丹後市において、中小企業の受注減少による休業に対応する教育訓練事業等を、地域ニーズに即応しながら商工会、産業団体、教育機関、公設試験研究機関、ハローワーク等と連携して実施した。

表 26 緊急雇用安定助成金申請企業向け教育訓練の実績

開催日	テーマ
平成 25 年 5月13日(月)	生産管理の実践講座～業務フローの活用を考える～
6月21日(金)	楽しく学べる社会人のための接遇マナー基礎講座
7月16日(火)	「モレ・ムダ・ミスのない仕事の進め方」研修
7月19日(金)	あなたの人間関係を劇的に解決！『ものづくり現場でできる当たり前のコミュニケーション話法』
9月20日(金)	現場における『個』の力を『組織』の力に変えるためのしくみを知る
11月15日(金)	仕事の達成度を高めるためのPDCAの具体的手法
平成 26 年 1月17日(金)	ものづくり現場における“会議力”～半分の時間で2倍の効果を出す 現場会議の進め方
3月20日(木)	現場の強みを活かして新製品を企画・開発しよう

8講座 延べ受講者数 511名

②丹後・知恵のものづくりパークにおける機器の貸付

丹後・知恵のものづくりパーク内に整備した試作・検査機器を活用し、地域の産業技術活性化や企業立地の促進を図った。

貸付台数 251 台、使用時間 1,063 時間

（京都府織物・機械金属振興センター分含む）

③丹後・知恵のものづくりパークでの人材育成事業

北部地域の機械金属加工業及び繊維工業における人材を育成するため、地域企業立地促進等事業費補助金を活用して、基礎的技術を備えた人材育成、生産現場を牽引するリーダーシップとマネジメント力を備えた管理者の育成、企業誘致のインセンティブとなり既存産業の更なる成長発展を支える開発・設計力を備えた人材育成等を実施した。

また、京都府、京丹後市の補助金を活用し、各種研修を京都府織物・機械金属振興センター等と連携して、経営・技術の両面に及び研修を実施した。

表 27 人材育成事業の実績

講座種類	講座数	延べ受講者数
技術系研修	59 講座	1,328 名
経営系研修	16 講座	935 名
合 計	75 講座	2,263 名

ウ 事業後継者育成支援事業「経営者育成大学」(特定資産運用益)

一般社団法人京都府中小企業診断協会との共催により企業の事業承継支援のため、事業承継して間もない者や後継予定者等を対象に経営者育成大学を開催し、経営戦略・計画策定、マーケティング、財務会計、人材マネジメント、経営革新の進め方・京都府の支援策についての講習及びグループ演習を通じて実践的な内容で実施した。

また、受講者の自主活動を推進するため側面的サポートを行い、21年度から24年度までの受講者全体の同窓会が6月28日に発足した。

開催期間：平成25年7月6日・7日～10月19日・20日

(8回開催 内、第1回及び第8回は1泊2日の宿泊セミナー)

受講者数：25名

研修の評価：各回毎のアンケートでは、「とても役に立った」「役に立った」が100%。開催期間、講義時間、内容のボリューム等も、「適当」「概ね適当」が88.3%～95.4%であった。

エ イノベーション促進雇用創出事業(京都府受託金)

平成24年度に京都府が緊急雇用対策として実施した新規事業であり、中小企業応援隊がコンサルティング活動を通じて、イノベーションに取り組むため新たな担い手を採用しようとする中小企業を発掘し、最大6ヶ月間のOJTによる能力開発と、その後の人材定着を支援する事業を受託した。

平成25年度は、平成24年度本事業採択事業者のうち委託事業期間が6ヶ月に至っていない事業者を対象とした継続事業である。

表 28 対象企業・担い手採用実績

コンサルティング対象企業	採用実績
19社	24名

オ 京都ものづくり中小企業正規雇用拡大推進事業(新規 京都府受託金)

京都府が緊急雇用対策として実施する循環促進型雇用創出事業～中小企業正規雇用拡大推進事業～であり、新たな事業分野への進出や事業拡大等に取り組むために新たな人材を求めるものづくり中小企業(製造業又は情報通信業)に対して、当該人材の確保を支援し、企業の成

長とともに求職者（失業者）の正規雇用推進を図る事業を受託した。

申請者数 : 46社 133名
 採択候補者数 : 44社 117名
 委託契約締結数 : 34社 78名
 契約履行数 : 29社 56名（うち正規雇用化 40名）

(4) IT（情報技術）の活用

広域連携ネットワーク整備事業

「京都デジタル疎水ネットワーク」接続サービス等の提供

(5) 貿易・海外市場の進出

ア 京都企業アジア市場開拓支援事業（京都府補助金 東アジア市場開拓支援事業補助金）

①上海代表処（京都府上海ビジネスサポートセンター）の相談実績

上海代表処に職員5名（日本人2名、中国人3名）体制で、中国への進出を目論む府内中小企業や既に進出している京都企業からの販路開拓、事業提携、会社設立などの相談に応じるほか、中国経済や投資などの情報提供を行うとともに、食品、工芸品等の中国市場開拓を目指す企業のビジネス展開を支援する拠点として活動した。

表 29 相談の総件数

業種	相談企業数 (実数)	相談等延件数	内 訳											小計
			経営全般	販路開拓	法律	労務	税務	海外調達	貿易	事業提携	会社設立	特許	その他	
製造業	53	128	7	60	2	2	1	5	1	55	1	0	46	180
卸売業	12	29	3	23	0	0	0	0	1	5	0	0	5	37
小売業	19	55	17	29	0	1	0	3	2	2	0	0	9	63
サービス業	42	94	5	42	1	1	0	1	0	16	0	0	42	108
その他	19	84	2	10	0	0	0	1	0	11	0	0	62	86
小計	145	390	34	164	3	4	1	10	4	89	1	0	164	474

②日中ものづくり商談会

府内ものづくり企業の中国でのビジネス展開支援を目的にファクトリーネットワークアジアが主催する「日中ものづくり商談会@上海、@広州」の共催者となり、京都企業と中国企業とのビジネスマッチングの場の提供を行った。また、今回初めてソリューション出展コーナーに京都府ブースを設け相談等の対応を行った。

「日中ものづくり商談会@上海」

日程 平成 25 年 9 月 11 日（水）～12 日（木）

出展企業 38 社（全体約 600 社）

場所 上海世貿商城
商談件数 553 件 (成約可能性件数 約 60 件)
「日中ものづくり商談会@広州」
日程 平成 25 年 11 月 21 日 (木) ~23 日 (土)
出展企業 14 社
商談件数 195 件 (成約可能性件数 約 60 件)

③京都ショップ中国展開支援事業

中国市場に進出しようとする京都府内の中小企業が、中国において実店舗やWEBショップを展開する経費の一部を補助し、新たな市場開拓の取組を支援した。

支援企業数 3 社

④海外メーカーとの取引あっせん

◆共同受注 (京都自動設備支援ネットワーク「チーム京都」)

中国にある引き合い情報を共有化し、参画企業の事業拡大を目指す「チーム京都」の運営を支援した。

●成約件数 3 件

●成約金額 1,200 万円

- ・電解液タンク用フランジ試作機の製造
- ・折りたたみ傘製造工程における「折り作業」の半自動化要請
- ・オイルフィルター装置など

●継続案件：12 件 (引き合い額 概ね 5 億円)

- ・自動車部品製造工程の自動化要請
- ・リチウムイオン電池関連ラインの自動化要請
- ・アイロン製造工程の自動化要請

●主なイベント

- ・6 月 28 日 第 1 回京都例会 (出席者名 17 名)
- ・8 月 22 日 第 2 回京都例会 (出席者 19 名)
- ・9 月 11 日~13 日 上海ミッション (ものづくり商談会にも参加) (参加者 22 名)
- ・10 月 21 日 第 3 回京都例会 (出席者 24 名)

●会員企業数… 36 社

⑤物産系事業

◆常設店舗

成都伊勢丹 京都コレクション

平成 24 年 6 月 21 日から平成 25 年 5 月 31 日まで展開

その後も参加企業が独自に継続出展 (サンクロレラ、舞妓の茶本舗、ロマンス小杉、京ウィンド)

◆物産展

・香港そごう銅鑼灣店京都フェア

日程 平成 25 年 8 月 7 日 (水) ~13 日 (火)

場所 香港そごう銅鑼灣店地下 2 階食品フロア

出展企業 24 社

来場者数 35,000 人

売上 約 1,000 万円 (約 80 万香港ドル)

・京都商品PR販売会 in 中国OLE

日程 平成 25 年 12 月 21 日 (土) ~27 日 (金)

場所 OLE (シンセン万象店)

- 上海伊勢丹ジャパンフェア
 - 日程 平成 26 年 3 月 3 日 (月) ~ 9 日 (日)
 - 場所 上海伊勢丹
 - 出展企業 12 社
 - 売上 約 170 万円

- 京都物産展 in 中国青島イオン
 - 日程 平成 26 年 3 月 24 日 ~ 4 月 7 日
 - 場所 青島イオン東部購物広場
 - 内容 日本京都食文化の宣伝ほか

◆展示会

- Home & Gifts Shanghai 2013 出展
 - 日程 平成 25 年 8 月 28 日 (水) ~ 30 日 (金)
 - 場所 中国上海市 上海マート 4 階
 - 参加企業 (9 社) 舞妓の茶本舗、東洋レーベル (京匠貿易)、五明金箔工芸所、古裂会
ロマンス小杉、木村桜土堂、小堀、井助商店、奥村企画
 - 名刺獲得数: 256 社 情報交換数: 89 件 見積依頼数: 8 件
 - 商談成立数: 1 件 サンプル販売金額: 約 110 万円

- 中国北京展示会

- 日程 平成 26 年 3 月 13 日 (木) ~ 16 日 (日)
- 場所 中国北京市
- 参加企業 (4 社) 奥村企画、熊谷聡商店、小堀、井助商店
- 名刺獲得 126 社 今後に繋がる引合い 8 件
- サンプル販売額: 約 120 万円

◆陝西省友好提携 30 周年記念事業

- 日程 平成 25 年 11 月 19 日 (火)
- 場所 中国西安市 大唐西市ショッピングセンター
- 内容 京都府友好訪問団記念イベント開催
- 参加者 山田京都府知事ほか約 50 名

◆海外バイヤー等訪日ミッション関係

- 「上海藝術禮品博物館」バイヤー招聘
 - 日程 平成 25 年 4 月 25 日 (木)
 - 来訪者 2 名
 - 内容 上海藝術禮品博物館に展示する京都伝統工芸品を視察および買付
 - 商談内容 川人象嵌ほか 10 社より買付 (約 300 万円)
- 「中国揚州市訪日ミッション」
 - 日程 平成 25 年 7 月 2 日 (火)
 - 来訪者 蔣 愛祥氏 (江蘇省江都市人民政府市委書記) ほか 11 名
 - 内容 西陣織会館、オムロン(株)視察
- 「日本酒・酒類輸出商談会 in 京都」
 - 日程 平成 25 年 7 月 8 日 (月) ~ 9 日 (火)
 - 来訪者 バイヤー 10 社 (アメリカ、フランス、オランダ、ドイツ、中国、タイ等)
 - 酒蔵 21 社 (山本本家、北川本家、黄桜、斎藤酒造、松井酒造等)

主催 JETRO、京都府との共同事業

商談件数：105件 成約件数：1件 400万円 成約見込み件数：29件

- ・「上海高級ギャラリー 煙波」バイヤー招聘

日程 平成25年7月18日（木）

来訪者 3名

内容 前回（3月）の来訪時に約2,000万円の発注あり。今回、北京フラッグショップ開設にあたり買付及び新規取引先候補を紹介
銀商品、漆器、香木、鉄瓶、仏具等10社紹介

- ・「中国大連買付団」との商談会

日程 平成25年7月23日（火）

主催 日本国際貿易促進協議会京都総局

来訪者 17社 33名

内容 京都企業約20社との商談を実施

- ・「中国食品バイヤー 深圳一番」バイヤー招聘

日程 平成25年8月22日（木）～23日（金）

来訪者 3名

面談数 9社 訪問企業 4社

内容 中国における日本産加工食品を取り扱う最大手の商社を招聘し京都の食文化、農産物の紹介、商談を開催

成約件数：7件 547万円

◆訪日ミッション

- ・「中国 広東省工商連合会訪日ミッション」企業視察及び交流会開催

日程 平成25年8月1日（木）～2日（金）

来訪者 広東省工商連合会副主席ほか12名

京都企業：9社10名参加

内容 オムロン(株)視察、生田産機工業(株)にて京都企業との交流会開催、(株)熊谷聡商店、清水寺訪問

- ・「中国 上海市工商連訪日ミッション」開催

日程 平成26年3月27日（木）～28日（金）

来訪者 上海市工商連合会 23名

内容 京都府、京都商工会議所表敬訪問、オムロン、生田産機工業、月桂冠、京都大学桂キャンパス視察

イ 京都イタリア中小企業交流支援事業（京都府受託金）

2004年にフィレンツェで開催されたフィレンツェ・京都姉妹都市提携40周年記念式典以来、京都府とフィレンツェの交流窓口として「京の若手職人育成プログラムフィレンツェ派遣」等京都府プロジェクトの企画補助及び京都府・トスカーナ州経済交流事業を推進するため、現地専門家を雇用し、経済交流事業の支援業務を行った。

展示会出展（artigianato） 4月20日～28日

ウ 海外ビジネスサポートセンター事業（京都府補助金 「Kyoto Japan」海外市場販路拡大推進事業）

京都府海外ビジネスサポートセンターに専門の相談員を配置して国際ビジネスに関する相談に応じるほか、海外の経済・貿易・投資などの情報提供や貿易投資セミナーの開催等を実施

し、府内中小企業の国際化を支援した。

①貿易、海外投資に係る相談

京都府海外ビジネスサポートセンターにおける貿易、海外投資に係る相談に対して、アドバイザーが助言や情報提供を行った。相談案件に対して汎用的な対応方法をアドバイスするのではなく、相談案件を詳細に検証し、具体的な対応方法等をアドバイスするようにしている。

表 30 海外ビジネスサポートセンターの相談件数（国別）

業種	相談件数 (延べ)	国別(延べ)										
		中国	韓国	台湾	香港	タイ	マレーシア	ベトナム	シンガポール	USA	EU	その他
一般機械器具	17	6	0	1	0	1	1	0	1	1	0	7
電気機械器具	8	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
金属製品	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精密機械器具	6	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
繊維工業	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他の製造業	12	0	0	1	0	0	0	1	3	3	1	6
化学工業	9	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	7
金融業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
食品関連業（製造、卸売、販売）	47	9	0	6	10	1	1	0	5	5	7	14
工芸品（製造、卸売、販売）	10	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5
各種商品小売業	25	10	0	0	4	2	0	0	5	5	1	2
外国公務	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	71	20	5	2	6	1	0	1	4	4	11	24
合計	219	60	5	16	20	6	2	3	19	19	21	74

表 31 海外ビジネスサポートセンターの相談件数（相談区分別）

業種	内訳								
	経営全般	貿易	近状報告	事業提携	情報交換	特許・知財権関連	展示会・セミナー関連	補助金関連	その他
一般機械器具	8	6	1	0	0	0	0	0	2
電気機械器具	3	3	0	0	1	0	1	0	0
金属製品	1	1	1	0	0	0	0	0	0
精密機械器具	1	1	1	0	0	0	0	1	2
繊維工業	0	6	0	0	0	0	1	0	0
その他の製造業	5	2	1	0	0	0	4	0	0

化学工業	1	4	0	0	0	0	3	0	1
金融業	0	0	0	1	0	0	0	0	0
食品関連業（製造、卸売、販売）	9	23	7	0	0	0	5	1	2
工芸品（製造、卸売、販売）	3	2	1	0	0	1	3	0	1
各種商品小売業	10	6	6	0	1	0	1	0	0
外国公務	0	0	0	0	2	0	1	0	0
その他	9	33	5	3	9	1	2	1	8
合計	50	87	23	4	13	2	21	3	16

②セミナー

表 32 海外ビジネスに関連するセミナー開催実績

	開催日	セミナーのタイトル	講師	受講者数
1	平成 25 年 4 月 15 日	はじめての貿易（輸出単価設定）	山田真一 京都産業21海外ビジネスサポートセンター	12
2	4 月 17 日	はじめての貿易（輸出書類作成）	〃	12
3	4 月 19 日	香港ハブ機能を活用したアジアビジネス展開	〃	47
4	5 月 15 日	はじめての貿易（輸出単価設定）	〃	5
5	5 月 17 日	はじめての貿易（輸出書類作成）	〃	2
6	6 月 15 日	大京化学貿易講習会	〃	7
7	6 月 20 日	はじめての貿易（輸入取引編）セミナー	〃	6
8	7 月 3 日	インドネシアビジネスセミナー	Mr. Ibnu Hadi インドネシア総領事館	42
9	7 月 25 日	海外見本市活用勉強会	橋本 雄二 ジェトロ	63
10	11 月 1 日	Shanghai ビジネスと日常	土屋泰幸 京都産業21上海代表処	22
11	11 月 15 日	アリババセミナー	山田真一 京都産業21海外ビジネスサポートセンター	29
12	12 月 10 日	はじめての貿易（輸出単価設定）	〃	17
13	12 月 17 日	はじめての貿易（輸出書類作成）	〃	15
14	平成 26 年 1 月 21 日	シンガポール ASEAN セミナー	久富 英司 ジェトロ	33
			合計	312

工 上海常設展 日本京都館運営

- 平成 24 年 6 月 15 日～平成 26 年 3 月 31 日（1 年 10 カ月間運営し、閉館）
- 出展企業

ものづくり系	44 社
伝統工芸・物産系企業	24 社
- 来館者数

平成 24 年度	5,895 人、	25 年度	4,985 人
----------	----------	-------	---------
- 活動報告

ものづくり系企業及び物産系・伝統産業系企業のための発注開拓、販路開拓、販路拡大など中国進出の足掛かりとして活用して頂くため、上海マート3階において、常設展示場（ショールーム）を「日本 京都館」として運営してきた。

初年度は京都の物産・工芸品の物珍しさもあり、上海マートに訪れるバイヤーを誘導し、京都ブランドの商品力をPRする事で成約案件もあった。また、京都館出展を契機として、バイヤーとの代理店契約を結ぶ事例や常設店舗の設置、物産展への単独出店などの自主展開の動きも出てきた。しかしながら、広報宣伝力の不足や日中間の懸案課題の影響もあり、バイヤー来場者が伸び悩み、特にものづくり系出展企業に対しては効果的なマッチング実績をあげることができなかった。よって費用対効果も勘案した結果、本年度末をもって京都館を閉館することとしたが、今回の案件は中国で市場開拓することの難しさを学ぶ経験となった。

オ 農産物輸出ビジネス支援事業（京都府補助金 京都府農産物輸出ビジネス支援事業補助金）

①輸出相談窓口設置事業

農産物等の輸出に関する相談業務等を行うため、窓口となるコーディネータ1名を配置し、農業ビジネスセンター京都との連携により、府内農産物等の輸出ビジネスを支援した。

[平成25年度相談対応件数：166件（平成24年度実績181件）]

②農産物等輸出サポート隊設置・派遣事業

海外展開を目指す京都府内の農業生産者等に対し、民間の専門家を派遣し具体的課題に関する助言・指導を行う民間の専門家9名をサポート隊として組織。意欲のある農業生産者等の販路拡大等を支援するため、台湾、香港で行った販促活動等に対するアドバイス要請などに応えて、サポート隊を派遣した。

[平成25年度派遣回数12回（平成24年度派遣回数13回）]

③インターネット輸出支援事業

平成23年度に構築した京都府産生産物を取り扱う消費者向けウェブサイト「京都市的農産物モール」を利用して京都府内の農林水産物等の販路拡大を支援した。

[平成25年実績：アクセス数 26,158件（販売12件：52千円）]

*本事業は平成26年3月20日をもって終了

(6) 京都府中小企業応援隊事業（京都府補助金 京都府中小企業応援隊事業補助金）

中小企業等への訪問を中心としたコンサルティングを行い、現地現場主義にたつて企業の強みや弱みを把握した上で、経営の安定・改善からイノベーションなどの創出に繋げるサポートを実施した。

訪問支援企業数：910社 訪問延べ相談企業数：1,605社
 窓口支援企業数：890社 窓口延べ相談企業数：1,530社
 訪問創業支援企業数：11社 訪問延べ創業相談企業数：14社
 窓口創業支援企業数：98社 窓口延べ創業相談企業数：117社

ア 中小企業ステップアップ事業

経営の安定と成長、創業、円滑化法対策に向けた応援隊員のコンサルティングの結果、中小企業者等が実施する経営改善につながる取組みやイノベーションへ取組む企業を支援するため、22事業者に上限10万円を、創業の取組み支援として1事業者に上限20万円を、円滑化法対策に取組む支援として1事業者に上限10万円の補助金を交付した。

また、台風18号で罹災した事業者の復旧の取組みを支援のため、1事業者に対し、上限10万円の補助金を交付した。

支援区分	交付企業数	交付総額(千円)
通常支援	22	2,176
創業支援	1	200

円滑化法対策支援	1	93
復旧応援事業	1	100
合 計	25	2,569

イ 中小企業等生産設備再建支援事業費（新規 京都府補助金 中小企業等生産設備再建支援事業補助金）

台風 18 号で被災した中小企業者等の生産設備等の再建を支援し、早期の復旧・復興を緊急支援した。

表 33 中小企業等生産設備再建支援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額（千円）
10月4日～3月14日	8	8	4,988

3 経営革新・企業の連携・新事業の展開

(1) 経営・事業計画

ア 中小企業研究開発等応援事業受託事業（京都府受託金）

① 京都府元気印中小企業認定、経営革新計画の承認の支援

平成 25 年度の元気印認定企業数は 18 件（平成 19 年度以降累計 145 件）、経営革新承認企業数は 29 件（平成 12 年 1 月以降累計 561 件）であった。

※平成 24 年度元気印認定企業数 21 件、経営革新承認企業数 32 件

② 京都府元気印中小企業認定制度及び経営革新計画承認制度の普及・推進

a) 京都府元気印中小企業認定制度の普及・推進

京都府中小企業応援条例に基づく研究開発等事業計画の認定申請に関する相談・受付・調査・プレゼンテーション・ブラッシュアップ・意見聴取を実施した。また、認定後 1～2 年の企業を対象に円滑な事業実施を支援するため、事業計画の進捗状況をもとにフォローアップ調査を実施した。

表 34 相談・受付・調査等の実施実績

相談・指導	申請受付	調査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	意見聴取会議開催回数・案件数
20 回	19 件	14 件	5 回	5 回・15 件

b) 経営革新計画の普及・推進

中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（中小企業新事業活動促進法）の経営革新計画承認申請に関する相談・受付・調査・プレゼンテーション・ブラッシュアップ・意見聴取を実施した。また、承認後 1 年以上の企業を対象にフォローアップ調査を実施し、販路開拓等の支援を行った。

表 35 相談・受付・調査等の実施実績

相談・指導	申請受付	調査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	意見聴取会議開催回数・案件数
40 回	32 件	28 件	12 回	12 回・29 件

c) 経営革新塾の実施

京都府元気印中小企業認定制度及び経営革新計画承認制度の普及・推進のため、経営革新塾を実施した。

- ・経営革新塾 平成 25 年 6～9 月（4 回） 参加：8 社
- 平成 25 年 12 月～26 年 3 月（23 回） 参加：7 社

③ 成長分野認定育成事業 中小企業研究開発等応援事業（新規 京都府補助金 成長分野認定育成事業 中小企業研究開発等応援補助金）

京都府中小企業応援条例に基づき、研究開発等事業計画の認定等を受けた中小企業者が取組む事業活動を支援した。

a) 元気印認定企業コース

- 補助率 2分の1 以内
- 補助額 1,000万円以内

- b) 知恵の経営認証企業コース
 補助率 2分の1以内
 補助額 500万円以内

表 36 成長分野認定育成事業 中小企業研究開発等応援事業交付実績

募集期間	申請件数	採択件数	交付額(千円)
6月26日～7月9日	39	23	55,837

イ 地域産業研究開発支援事業(特定資産運用益) <技術顕彰(京都中小企業技術大賞等)>
 技術顕彰(京都中小企業技術大賞等)の実施

新製品・新技術の開発に成果を上げ、京都産業に貢献した府内の中小企業及びその技術者を京都中小企業技術大賞、優秀技術賞、特別技術賞及び優秀技術者賞として顕彰し、平成26年2月20日に開催した「京都“ぎじゅつ”フォーラム2014」において表彰式を実施した。

表 37 表彰企業

◆ 京都中小企業技術大賞(1社)

開発した技術または製品名	企業名	代表者
ジェルترون「GELTRON」	(株)パシフィックウエーブ (舞鶴市)	代表取締役 田中啓介

◆ 京都中小企業優秀技術賞(4社) ※企業名五十音順

開発した技術または製品名	企業名	代表者
金属光造形複合加工制御システム及び金型製作技術	(株)OPM ラボラトリー (京都市下京区)	代表取締役 森本一穂
特殊環境におけるバルブの耐久性を大幅に向上したメタルシートボール弁	(株)ケイヴィシー (京都市南区)	代表取締役社長 小林紘一
高速・高品質次世代ボックスパウチ(角底袋)製袋機 BH-60DG-F・BH-80DG-F(二列取りタイプ含む)	トタニ技研工業(株) (京都市南区)	代表取締役社長 戸谷幹夫
絵画用無鉛岩絵具(京上岩絵具)	ナカガワ胡粉絵具(株) (宇治市)	代表取締役 中川晴雄

◆ 京都中小企業特別技術賞(1社)

開発した技術または製品名	企業名	代表者
デリケートなシルクからデイリーなシルクへ「SHIDORI」	(株)山嘉精練 (亀岡市)	代表取締役 山内伸介

◆ 京都中小企業優秀技術者賞

当該受賞技術の開発に貢献した技術者 18名と1グループ

ウ 知恵の経営の推進

京都府知的財産総合サポートセンター事業として一般社団法人京都発明協会が運営する「知恵の経営」評価・認証の取り組みについて、評価委員会へ出席するとともに、京都府中小企業技術センターと知財、技術、経営のワンストップサービス提供支援を行った。

また、京都商工会議所が取り組む知恵ビジネス推進事業と連携した事業展開を図った。
 (評価委員会開催 5回)

エ 外国出願支援事業（特許庁 国庫補助金： 補助金の額 15,432 千円）

近畿経済産業局の補助事業である「外国出願支援事業」を活用し、知財を活用した海外事業展開を行う府内中小企業者の支援に取り組んだ。

平成 25 年度は、4月に公募を行い 10 件の申請があり、審査の結果、特許 6 件（5 企業）、商標 2 件（2 企業）、意匠 1 件（1 企業）を採択した。

また、7月に第 2 次公募を行い 27 件の申請があり、審査の結果、特許 14 件（8 企業）、商標 4 件（3 企業）、意匠 1 件（1 企業）を採択した。

出願国は第 1 次、第 2 次募集を併せて、中国（15 件）、米国（12 件）、韓国（12 件）、欧州（11 件）の順であった。

（2）起業・創業

ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金）

起業家セミナーの開催

各分野で起業を目指している方、または創業間もない方を対象に、企業経営における課題や問題点等を解決するため、必要なスキルや知識を学ぶとともに、ビジネスプランの作成方法、税務・財務知識など基礎的な知識と実践力をつけることを目的に起業家セミナーを開催した（平成 25 年 10 月 12 日～11 月 30 日（全 7 回））。

受講者の公募（8 月 7 日～9 月 24 日） 受講参加者 45 名

イ 中小企業事業継続支援事業（新規 京都府補助金 中小企業事業継続支援センター事業補助金）

京都中小企業事業継続支援センターでは、起業家・アーリーステージ企業及び中小企業者における起業（アーリーステージ期を含む）、事業承継、事業転換といった事業局面における事業継続の課題に対し、他の支援機関と連携支援していくため、オール京都の官民の支援機関が参画し支援の輪をつなぐプラットフォーム「京都事業継続・起業支援ネットワーク」の事務局を担いながら事業を実施。

①支援ネットワークによる連携支援力強化のための情報共有及び連携支援

平成 25 年 6 月 13 日に、京都中小企業事業継続支援センターの看板設置式及び「京都事業継続・起業支援ネットワーク推進協議会」キックオフ会議を開催して各支援機関が情報共有を図り連携支援を強化していくことを確認し支援ネットワークによる事業を本格的に開始。

支援ネットワークに参画する支援機関相互間の情報共有及び起業、事業承継、事業転換における事業継続課題に対する連携支援を図るため、実務交流会を 8 回開催した。

支援ネットワークの拡大に努め、参画支援機関は平成 25 年 6 月の推進協議会キックオフ会議時の 43 機関から 70 機関へと広がった。

事業承継支援の一環として、後継者不在に悩んでいる中小企業と幹部候補人材を合同就職相談会形式によりマッチングする「ミライミーティング」を全国で初めて開催した。

表 38 京都事業継続・起業支援ネットワーク関係会議等開催実績

開催日	内容	備考
平成 25 年 6月 13 日	「京都中小企業事業継続支援センター」看板設置式	山田京都府知事、白須京都市産業観光局長、家次京都産業育成コンソーシアム常任幹事ほか参加
6月 13 日	プラットフォーム「京都事業継続・起業支援ネットワーク推進協議会」キックオフ会議（開催場所：京都リサーチパーク）	オール京都の官民の支援機関（経営戦略及び人材確保、拠点確保、資金調達、技術、販路開拓に係る支援機関）が参画 出席者：53 名
7月 3 日、5 日、8 日	地域別「京都事業継続・起業支援事業ネットワーク事業」説明会	丹後広域振興局 南丹広域振興局、北部産業技術支援センター・綾部山城広域振興局 出席者：計 63 名
7月 26 日	第 1 回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：京都市産業技術研究所 出席者：52 名
8月 26 日	第 2 回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：京都テルサ 出席者：48 名
9月 26 日	第 3 回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：D-egg インキュベーション施設 出席者：47 名
10月 24 日	第 4 回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：第八長谷ビル 出席者：41 名
11月 12 日	第 5 回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：京都リサーチパーク 出席者：38 名
11月 27 日	第 6 回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：京都市成長産業創造センター 出席者：32 名
平成 26 年 1月 15 日	第 7 回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：京都府産業支援センター 出席者：28 名
3月 6 日	第 8 回「京都事業継続・起業支援ネットワーク実務交流会」	開催場所：三井住友海上火災保険(株)京都支店 出席者：28 名

表 39 中小企業と幹部候補人材の合同就職相談会（「ミライミーティング」）開催実績

開催日	内容	備考
平成 26 年 2月 17 日	中小企業と幹部候補人材の合同就職相談会「ミライミーティング」 主催： （公財）京都産業 21、京都ジョブパーク 共催： （一社）事業承継支援財団、京都府商工労働観光部ものづくり振興課	開催場所：京都テルサ 参加企業：3 社（業種：金属加工業、運輸業、飲食店） 参加求職者：7 名（事前申込者数：12 名） 広報：募集チラシ、ポスター、「京都起業・承継ナビ」ホームページ

②オール京都での起業家・アーリーステージ企業及び中小企業者に向けたホームページ等による事業継続に係る支援情報発信

事業継続の課題について、京都中小企業事業継続支援センター及びオール京都の官民の

「京都事業継続・起業支援ネットワーク推進協議会」参画支援機関が連携して、ネットワークを活用しリレー支援していることについての知名度向上を図るため、ホームページ「京都起業・承継ナビ」から支援情報を積極的に発信した。

表 40 ホームページ「京都起業・承継ナビ」運用状況

区分	内容
登載情報の概要	<ul style="list-style-type: none"> 「京都事業継続・起業支援ネットワーク推進協議会」参画支援機関等における、起業（アーリーステージ期を含む）、事業承継、事業転換のステージ別、経営戦略、人材確保、拠点確保、資金調達、技術支援、販路開拓等に係る官民の支援情報を登載。 支援カレンダーで支援情報が検索可能
支援情報の登載件数	1,566 件（平成 25 年 6 月～26 年 3 月末） * 1 日当たりの平均登載件数：8 件
アクセス件数	合計 39,382 件（平成 25 年 6 月～26 年 3 月末） * 「京都 起業」、「京都 事業承継」等での検索順位 1 位。

表 41 京都中小企業事業継続支援センター・京都事業継続・起業支援ネットワークの事業PR状況

実施日	内容
平成 25 年 8 月 2 日	・ KRP—WEEK の京都産業 2 1 展示ブースに出展 （場所：京都リサーチパーク）
10 月 17 日～18 日	・ 中信ビジネスフェアの京都産業 2 1 展示ブースに出展 （開催場所：京都パルスプラザ）
11 月 20 日	・ <ナント>元気企業マッチングフェアの京都産業 2 1 展示ブースに出展 （場所：マイドームおおさか）
平成 26 年 2 月 20 日～21 日	・ 京都ビジネス交流フェアのBPカフェ展示ブースに出展 （場所：京都パルスプラザ）

③起業家・アーリーステージ企業及び中小企業者に対するオール京都の支援機関と連携した事業継続の課題についてリレー支援

京都産業 2 1 ホームページ及びホームページ「京都起業・承継ナビ」、案内チラシ、新聞記事や口コミをきっかけにして、起業に関する相談や事業承継等についての相談が寄せられており、京都中小企業事業継続支援センターでは支援ニーズを把握したうえ、産業 2 1 内部はもとより「京都事業継続・起業支援ネットワーク推進協議会」参画支援機関と連携して事業継続の課題解決支援に向けてリレー支援を行った。

ウ 京都ものづくり系企業人材確保・育成支援事業 企業開拓・周知委託業務

（新規 京都府委託事業）

起業後 10 年以内の府内中小企業・組合・NPO 法人で、製造業又は情報通信業の事業を実施し失業者を新規雇用して OJT を通じて人材育成する取組を支援するため、京都府の「京都ものづくり系企業人材確保・育成支援事業」（委託事業）に係る企業開拓・周知業務を受託した。

①「京都ものづくり系企業人材確保・育成支援事業」

- ・雇用期間 1 年以内

- ・対象経費 新規雇用の失業者に対する人件費：上限月額 25 万円、
その他の経費：上限月額 5 万円
 - ・受付期間 第 1 回 平成 25 年 9 月 13 日～10 月 3 日
第 2 回 平成 25 年 11 月 8 日～12 月 16 日
- ②「京都ものづくり系企業人材確保・育成支援事業」事業周知
- ・平成 25 年 9 月、「京都起業・承継ナビ」ホームページに本件事業 PR ページを制作して情報発信するとともに、「京都起業・承継ナビ」のメールマガジンにより情報発信し事業周知に努めた。
 - ・平成 25 年 9 月、募集チラシを制作して配架するとともに、来所者に配布・説明。企業訪問時にも募集チラシを配布し事業周知に努めた。
また、京都中小企業事業継続支援センターの主催する事業説明会等を実施した。
 - ・平成 25 年 11 月 18 日発行の日経新聞朝刊及び 11 月 19 日発行の京都新聞朝刊に本件事業を掲載し、事業周知に努めた。
 - ・ベンチャー全国業界紙の「ベンチャー通信」（平成 25 年 12 月号）に本件事業を掲載し、事業周知に努めた。＊「ベンチャー通信」：全国 1,000ヶ所で 6 万部を無料配布
 - ・「リビング京都」（平成 25 年 12 月 7 日号、配布エリア：京都中央・西南・東南、配布部数：490,330 部）に本件事業を掲載し、事業周知に努めた。

エ 中小企業事業継続支援雇用対策事業 周知・広報・管理委託業務（新規 京都府委託事業）

失業者を新規雇用して、安定的な事業継続のための取組を支援するため、京都府の「中小企業事業継続支援雇用対策事業」（委託事業）を受託し、案内チラシの作成等募集を行うとともに、支援センターに相談のあった案件について助言・指導を行った。
また、委託契約締結企業を訪問し、事業実施に当たっての指導等フォローアップを行った。

「中小企業事業継続支援雇用対策事業」

- ・支援期間 事業委託契約締結後最長 6 箇月以内（最長で平成 26 年 3 月 31 日まで）
- ・対象経費 新規雇用の失業者に対する人件費：上限月額 30 万円、
その他の経費：上限月額 10 万円
- ・受付期間 平成 25 年 10 月 1 日～11 月 29 日
- ・受付申請企業数：48 社（新規雇用失業者数：99 名）

「中小企業事業継続支援雇用対策事業」事業周知

- ・平成 25 年 10 月、京都府ホームページ及び「京都起業・承継ナビ」ホームページに本件事業 PR ページを制作して情報発信するとともに、「京都起業・承継ナビ」のメールマガジンにより事業周知に努めた。
- ・平成 25 年 10 月に経済団体、府、市町村、金融機関等あて募集チラシを送付し配架・配布要請するとともに、府内中小企業者あて送付して広報した。
- ・本件事業について、南部会場及び北部会場の 2 回、説明会を開催した。
【南部会場】京都リサーチパーク
開催日：平成 25 年 10 月 9 日（水）
出席者：30 名
【北部会場】京都府福知山総合庁舎
開催日：平成 25 年 10 月 11 日（金）
出席者：8 名

オ 地域需要創造型等起業・創業促進事業（創業補助金）の京都府事務局受託業務

（新規 中小企業庁委託事業）

創業及び第二創業を支援するため、平成 24 年度国補正予算（中小企業庁）の「地域需要創造型等起業・創業促進事業」（創業補助金）の京都府事務局業務を受託。基金設置法人の中小企業基盤整備機構との間で委託契約を締結し、相談、創業補助金説明会開催、応募書類受付、書面審査、地域審査委員会等の手続を経て採択事業者を決定するとともに、交付決定を行った。

また、平成 25 年度国補正予算（中小企業庁）の「創業補助金（創業促進補助金）」に係る京都府事務局業務を基金設置法人の中小企業基盤整備機構との間で受託した。

「平成 24 年度国補正予算（中小企業庁）地域需要創造型等起業・創業促進事業」（創業補助金）制度」

- ・「地域需要創造型起業・創業」補助金 100～200 万円
- ・「海外需要獲得型起業・創業」補助金 100～700 万円
- ・「第二創業」補助金 100～500 万円
*補助率はいずれも 2/3 以内
- ・対象経費 創業事業費、販路開拓費等

「平成 25 年度国補正予算（中小企業庁）創業補助金（創業促進補助金）制度」

- ・創業補助金 100～200 万円
*補助率は 2/3 以内
- ・対象経費 人件費、事業費、委託費等

表 42 「平成 24 年度国補正予算（中小企業庁）地域需要創造型等起業・創業促進事業」（創業補助金）採択件数

募集	創業補助金の種類	採択件数
第 1 回募集 （受付期間：3月 22 日～4月 22 日）	地域需要創造型起業・創業	34 件
	海外需要獲得型起業・創業	9 件
第 2 回募集 （受付期間：5月 22 日～6月 28 日）	第二創業	6 件
第 3 回募集 （受付期間：9月 19 日～12月 24 日）	計	49 件

カ ベンチャー支援事業関連審査等の実施

学識経験者、ビジネス・スーパーバイザー、企業財務専門家、法律専門家、行政機関等で構成する「ベンチャー事業可能性評価委員会」（委員長：松波弘之 京都大学名誉教授）を設置し、連携型イノベーション研究開発事業の提案申請やけいはんなベンチャーセンター・インキュベートルーム入居などに関連する審査等を 12 回実施した。

キ 京都経営品質協議会の運営支援（京都経営品質協議会受託金）

京都経営品質協議会の事務局を受託し、協議会の運営に当たるとともに経営品質に関する各種講座、セミナー等を開催し、経営品質の普及・啓発を図った。

26 年度からアセスメント基準書が改訂されることに伴い、改訂内容に関する説明会を開催。また、経営品質の組織内推進者を支援するための事業を新設した。（「受賞企業研究会」、「組織プロフィール交流会」）

①京都経営品質協議会

◆ 設立年月日：平成 17 年 9 月 21 日

会員数（平成 26 年 3 月末現在）：89 社（者）

【正会員 80 うち中小・個人 62 NPO 4 その他 14） 特別会員 9】

◆事務局：京都府、京都商工会議所、（公社）京都工業会、（公財）京都産業 21

表 43 幹事会・運営委員会の開催実績

名 称	開 催 日	参 加	会 場
第 1 回運営委員会	平成 25 年 4 月 10 日	13 名	京都府産業支援センター 会議室
第 2 回運営委員会	6 月 12 日	10 名	
第 3 回運営委員会	8 月 7 日	14 名	
第 4 回運営委員会	10 月 8 日	15 名	
第 5 回運営委員会（臨時）	10 月 31 日	12 名	
第 6 回運営委員会	平成 26 年 1 月 20 日	15 名	
第 7 回運営委員会	2 月 12 日	11 名	
第 8 回運営委員会	2 月 26 日	10 名	
定例幹事会	3 月 14 日	17 名	

表 44 各種講座等の開催実績

名 称	開催日	会 場	講師等	受講者数
第 1 回経営品質 オープンセミナー	平成 25 年 4 月 11 日	京都府産業支 援センター	鬼澤慎人 氏 NPO 法人茨城県経営品質協議会理事	92 名
第 2 回経営品質 オープンセミナー	6 月 7 日	京都府産業支 援センター	福井県済生会病院 院長 田中 延善氏	90 名
第 3 回経営品質 オープンセミナー	7 月 20 日	ハイアット リージェン シー京都	講演：アイエスエフネット(株) 代表取締役社長 渡邊幸義氏 NPO 法人テラ・ルネッサンス 理事 鬼丸 昌也氏 パネルディスカッション： 人と経営研究所代表大久保 寛司氏	192 名
第 4 回経営品質 オープンセミナー	9 月 5 日	京都府産業支 援センター	会津東山温泉向瀧 代表取締役 平田 裕一氏	61 名
第 5 回経営品質 オープンセミナー	11 月 15 日	京都府産業支 援センター	ライフネット生命(株) 代表取締役 出口 治明氏	62 名
第 6 回経営品質 オープンセミナー	平成 26 年 2 月 17 日	ホテルグラン ヴィア京都	(株)若林佛具製作所 取締役相談役 若林 卯兵衛氏 (株)マーケティングプロモーションセンター 代表取締役 岡本 正耿氏	63 名
第 1 回受賞企業 研究会	平成 25 年 6 月 7 日	京都府産業支 援センター	福井県済生会病院 事務副部長 経営企画課課長 齋藤 哲哉氏	18 名
第 2 回受賞企業 研究会	9 月 5 日	京都府産業支 援センター	京都経営品質協議会 参与 小島 一夫氏	11 名

第1回テーマ別 課題解決コース	平成25年 5月14日	京都府産業支 援センター	西川 敬一 氏 ㈱ブックス 代表取締役社長	10名
第2回テーマ別 課題解決コース	7月5日	京都府産業支 援センター	山本 知美氏 ビジネス・コンサルティング フォルテ代 表	14名
第3回テーマ別 課題解決コース	9月17日	京都府産業支 援センター	嘉村 賢州 氏 NPO 法人場とつながりラボ home' svi 代 表	18名
第4回テーマ別 課題解決コース	11月14日	京都府産業支 援センター	水谷 智子氏 ㈱人事部 取締役	14名
そうだったのか！良 くわかる経営品質入 門セミナー（前期）	平成25年 6月12日、19 日、26日、7 月3日、10日	京都府産業支 援センター	木村 智 氏 （他京都経営品質協議会運営委員 4 名）	延べ 64名
そうだったのか！良 くわかる経営品質入 門セミナー（後期）	10月2日、9 日、16日、 23日、30日	京都府産業支 援センター	木村 智 氏 （他京都経営品質協議会運営委員 4名）	延べ 41名
組織プロフィー ル交流会	平成25年 6月13日、7 月18日、8月 28日10月4 日、11月7日	京都府産業 支援センタ ー	京都経営品質協議会 参与 小島 一夫氏	4社 6名
先進企業を見て 学ぶコース	平成25年 9月18日、 19日	会津東山温 泉向瀧 他	会津東山温泉向瀧 代表取締役社長 平田 裕一氏 京都経営品質協議会 参与 小島 一夫氏 他	5名
アセスメントコース A1（基礎編）	平成25年 8月29日、 30日	京都府産業支 援センター	経営品質協議会インストラクター 山本 知美氏	6名
アセスメントコース A2（知識編）	9月24日、 25日	京都府産業支 援センター	経営品質協議会インストラクター 足立 裕氏	6名
アセスメントコース A3（評価編）	10月24日、 25日	京都府産業支 援センター	経営品質協議会インストラクター 田村 均氏	6名
体験セミナー	12月10日	リコージャパ ン㈱	NPO 法人茨城県経営品質協議会 理事 鬼澤 慎人氏	22名
2014年度アセス メント基準書改訂版 （パイロット）説明会	平成25年 7月1日	京都府産業支 援センター	経営品質協議会インストラクター 山本 知美氏	13名

総受講者：814名

②京都府アセッサー養成研修（京都府受託）

京都府庁内において行政経営品質（組織改善）の取組みを推進・支援していく役割を担う「京都府アセッサー」の養成を目的に、7日間のセミナーを開催した。

名 称	開催日	会 場	講師等	受講者数
京都府アセッサ ー養成研修	平成 25 年 7 月 16 日、 17 日、29 日、 30 日、8 月 21 日、22 日、9 月 13 日	京都府職員研修・ 研究支援センター 京都府産業支援 センター 京都平安ホテル	鬼澤慎人 氏 (NPO 法人茨城県経営品質協議会理事) 平井嘉人氏 (平井(株) 代表取締役) 水谷智子氏 (株)人事部 取締役)	28 名

③京都経営品質協議会ホームページの運営

平成 18 年 5 月から独自ホームページを運営 (<http://www.kyo-quality.jp/>)

(3) 企業連携

ア 京都企業戦略的共同研究推進事業 (京都府補助金 連携型イノベーション研究開発事業<企業連携型>)

連携型イノベーション研究開発事業<企業連携型> (平成 24・25 年度)、中小企業技術開発促進事業<企業連携型> (平成 23 年度)

府内中小企業を中心とした共同研究グループが行う技術開発の経費を定額補助することで、製品開発の加速化、早期事業化を図ることを目的に実施した。提案テーマの公募を行い、33 件の応募があり、ベンチャー事業可能性評価委員会による審査を経て、採択事業 3 テーマ (事業期間 1 年間、1 グループあたり 5,000 万円以内) を決定した。

表 45 連携型イノベーション研究開発事業<企業連携型> (平成 25 年度採択分)

研究期間 (年)	テーマ名	提案分野	代表企業
			共同研究企業
1	産廃ゼロを目指した工作機械用クーラント・スラッジ処理装置の開発	環境・エネルギー	(株)日進製作所 (株)ヤマモト
1	革新的炭素めっきのバレル式量産装置の研究開発と事業化	試作	アイ' エムセップ(株) 上田鍍金(株)
1	後工程試作サービスの提供に向けた、高性能 LED シリコン樹脂成形装置の製品開発	試作	(株)山岡製作所 (株)ニコーテック

表 46 連携型イノベーション研究開発事業<企業連携型> (平成 24 年度採択分)

研究期間 (年)	テーマ名	提案分野	代表企業
			共同研究企業
2	全蓄電池/EV メーカー即対応インターフェースとこれに接続される相互に並列運転可能な PCS (パワーコンディショナー) の開発	グリーンイノベーション実用化枠	(株)アイケイエス 平安建設工業(株) (株)富士製作所 (株)ITM (交付対象外)

2	革新的節電イノベーション「エコ調理排気フード」の製品開発	グリーンイノベーション実用化枠	ウインドナビ(株)
			(株)三晃空調 エーエフ工業(株) 三喜ゴム(株) (交付対象外)
2	ナノファイバーの革新的大量生産装置を用いた機能性スポーツ衣料の製品化	ライフサイエンス・ウェルネス	カトーテック(株)
			ゲンゼ(株)
2	普及型オンチップ HPLC システムの研究開発	環境 (一般)	(株)京都モノテック
			(株)エマオス京都 (交付対象外) 島津エンジニアリング(株)
2	世界最小「屋外用超小型撮像装置」の製品化研究開発	ICT・コンテンツ	高槻電器工業(株)
			オムロンソーシャルソリューションズ(株) (交付対象外)
1	自動車部品産業におけるエンジン部廻りの高次試作システムの開発	試作	(株)プロト
			(株)澤本製作所
1	プリント多層基板製造工程における Piece 管理機能を持つ確認機の開発	ICT・コンテンツ	(株)TIKUSON
			(株)マルチテクノ (交付対象外)

表 47 中小企業技術開発促進事業<企業連携型> (平成 23 年度採択分)

研究期間 (年)	テーマ名	提案分野	代表企業
			共同研究企業
2	製造事業者の省エネルギーに寄与する革新的エア駆動装置の製品化	環境・エネルギー	NKE(株)
			(株)坂製作所
2	高精度検卵情報を活用した種鶏農場・孵卵場向け商品化効率向上システムの開発	ライフサイエンス・ウェルネス	(株)ナベル
			(株)ヤマモト
2	ダチョウ抗体を用いた機能性化粧品の開発	ライフサイエンス・ウェルネス	オーストリッチファーマ(株)
			オーストリッチファクトリー(株)
2	高精度樹脂メッシュを用いた医療用携帯型吸入器の実用化研究開発	ライフサイエンス・ウェルネス	NNI(株)
			オムロンヘルスケア(株) (交付対象外)
2	多孔体金属箔ヒーターを用いた浮遊細菌の熱焼却式滅菌装置の製品化に向けた研究開発	環境・エネルギー	オパーツ(株)
			(株)山口製作所

また、共同研究推進コーディネータ4名を配置して、府内企業による共同研究テーマの掘り起こし及び既採択プロジェクトの推進を支援するとともに、京都企業の新たな共同研究の促進を図るための会員制ネットワーク（企業情報、シーズ情報、ニーズ情報のポータルサイト及びコミュニケーションサイト）である京都イノベーション創出ネットワーク(KIC-Net)を活用し、府内企業等による情報交流を図った。

イ KIIC（京都産業創造クラブ）事業（正会員会費）

KIIC 会員等企業グループによる自主的テーマ別研究会活動の運営を支援するとともに、会員交流を推進した。

①研究会（グループ）活動

a) きょうとマーケティング研究会

参加会員の経営戦略を事例に会員相互の討議を通して、新しい気付きを発見するとともにマーケティングについて研究し、自社の経営に活かすことを目的とする研究会。（17社）

表 48 例会：月1回の開催

開催日	内 容	場 所
平成 25 年 4月9日(火)	①各社の自己紹介 ②平成25年度事業計画、予算について	京都府産業支援センター 5階交流サロン
5月14日(火)	「小さなベンチャー企業から大企業に躍動したマーケティング商法を学ぶ」 講師：初鹿彰信氏 株式会社アルファパーチェス顧問	月心寺（大津市）
6月11日(火)	①会員企業概要説明及び現在の課題について ②最近のIT事情とWebマーケティングについて 小久保弘氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
7月9日(火)	「能楽おもしろ講座」 講師：池坊文化学園教員 能楽普及協会理事 河村 純子 氏	河村能舞台 （上京区）
8月6日(火)	「自社のビジネスモデルのたな卸し」石川憲昭氏（会員） 「システム思考力」田邊朋子氏（会員）	京都府産業支援センター 5階交流サロン
9月9日(月)	「写真業界の現状」宮西 至 氏（会員） 「IT業界の現状」大森 寛明 氏（会員）	〃
10月8日(火)	「京のトレンドを読む」 服飾評論家 市田 ひろみ 氏	〃
10月23日(水)	第17回異業種京都まつり展示交流会出展	ホテルグランヴィア京都
11月12日(火)	KIIC 会員交流会への参加	KRP
12月3日(火)	「京都の和食「おばんざい」～京商家に伝わる食のならわし～」 料理研究家 杉本 節子 氏	京都府産業支援センター 5階交流サロン
平成 26 年 1月8日（水）	公益財団法人京都産業 21 新春賀詞交歓会への参加	ホテルグランヴィア京都
1月14日(火)	「今年にかける想い」（会員各社より）	京都府産業支援センター 5階交流サロン
2月4日(火)	『思い出は宝物・もっと・感動ドラマ』を作る工場見学」 遠藤士郎氏（会員）	（株）エースデザイン （草津市）
3月11日(火)	「この1年を振り返り、次年度について」	モリタ屋（中京区）

b) ライフサイエンス研究会

「環境」と「ライフサイエンス」をキーワードに商品開発を目指す研究会。睡眠に関連する商品を開発しようと月1回、例会を行っている。（4社）

プロジェクト会議等 10回

講演会等

開催日	内容
平成 25 年 4月15日(月)	「25年度の取り組みについて」 「生体用非接触硬度計について」

5月20日(月)	「こだわりの石けんの開発・製造・販売について」 講師：(株)京のくすり屋 代表取締役 大橋俊矢氏
6月27日(木)	「最近の再生医療サポートビジネスについて」 講師：京都リサーチパーク(株) 村中伸滋氏
7月29日(月)	ディスカッション(新商品マーケティング)
9月9日(月)	「最近の寝具寝装品の機能と動向」 講師：(株)ロマンス小杉 副本部長 花坂康志氏
10月7日(月)	ディスカッション(新商品マーケティング)
11月18日(月)	ディスカッション(新商品マーケティング)
12月9日(月)	ディスカッション(新商品マーケティング)
平成26年 1月20日(月)	ディスカッション(新商品マーケティング) 橋本電子工業株式会社・工場見学
3月17日(月)	ディスカッション(新商品マーケティング)

c) KyooHoo

京都伝統産業系企業を中心に新商品開発、新市場開拓を目指す研究会。(11社)

プロジェクト会議等 24回

総会 6月25日 事業経過報告、25年度の各種プロジェクトの進捗確認

展示会出展等

会 期	展示会名等
平成25年 4月20日~28日	イタリア フィレンツェ artigianato 出展
5月27日~6月2日	中国 上海 伊勢丹 JAPAN FAIR 出展
7月4日~7日	フランス パリ JAPAN EXPO 出展
8月7日~13日	香港 SOGO 京都物産展 出展
8月18日~21日	米国 NY 国際ギフトショー2013 (NY NOW) 出展
8月28日~30日	中国 上海 Gifts & Home 上海出展
11月16日~19日	陝西省30周年記念 京都物産展 in 西安出展
平成26年 1月24日~28日	台湾 京都物産展 in 台北出展
2月2日~5日	米国 NY 国際ギフトショー2014 (NY NOW) 出展
3月3日~8日	中国 上海伊勢丹ジャパンフェア出展
3月13日~16日	中国 北京ギフト展出展

d) きょうとWEBショップ研究会

会員企業が運営するネットショップに関して、サイトのグレードアップ、検索上位、成約率の向上を図るため、ネットビジネスの最近の動向、SEO対策などについて、会員相互の交流・啓発を通して①WEBショップの売上向上②企業活動でのWEB技術活用とイメージアップ(e-コマースへの応用)を行い“本気”で月商500万円以上を目指して取り組むことを目的とする研究会(10社)

表 49 研究会活動報告 〈於 財団会議室〉

日 時	内 容
平成 25 年 7 月 19 日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 岡本会長 Ustream 活用報告 2013 年度の取り組み及び事業計画について
9 月 19 日(木)	<ul style="list-style-type: none"> Ustream 活用方法 ※ノート PC 持参により会員交流 実際に Ustream の配信方法を学ぶ。 次回例会までに、メンバーの自社サイトにて Ustream 放送を実施する。 ネットショップ動向についての発表（改善案）名淵先生
10 月 10 日(木)	<ul style="list-style-type: none"> メンバーによる Ustream 放送の課題と改善について Ustream の配信方法についての再確認 ネットショップの動向について
11 月 21 日(木)	<ul style="list-style-type: none"> メンバーによる Ustream 放送の課題と改善について Youtube の配信方法を学ぶ (フリーソフトを使った簡易的な) 動画編集について学ぶ 年末 or 年始の Ustream 合同放送の企画
平成 26 年 1 月 30 日(木)	<ul style="list-style-type: none"> メンバーによる Ustream 放送の課題と改善について ネットショップの動向についての発表（改題と改善案） 年末 or 年始の Ustream 合同放送の企画
2 月 13 日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 年末 or 年始の Ustream 合同放送（実践）
3 月 20 日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 次年度の活動計画について

②会員交流事業

K I I C 会員の情報交換、交流の場を提供することで、新産業創出につながるフォーメーション形成のための環境づくりを目的として講演会・交流会を開催するとともに、会員外の企業にも参加を呼び掛け、加入促進を図った。

日時・場所	内 容	参加者数
平成 25 年 11 月 12 日(火) 京都リサーチパーク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 部 講演会 (15:00~16:50) KRP 西地区 4 号館 2 階 ルーム 2 テーマ:「産学公による商品開発・新たな価値の創造」 講 師:東北大学大学院 工学研究科 教授 堀切川 一男 氏 ■ 2 部 交流・懇親会 (17:15~18:45) KRP1 号館 1 階 レストラン パティオ 	53 名 32 名

ウ 異業種交流推進事業（京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金、新連携異業種交流会開催事業）

①京都府異業種交流会連絡会議（22 グループ）の運営支援

京都府異業種交流会連絡会議の事務局として、事業運営を支援するとともに、企業間連携をはじめ、産学連携、農商工連携によるビジネスの推進を支援した。

a) 理事会等の開催

会議名	開催日	場 所
第 53 回理事会	平成 25 年 7 月 2 日 (火)	財団会議室
第 34 回総会	7 月 23 日 (火)	京都府産業支援センター5 階研修室
第 54 回理事会	10 月 10 日 (木)	ホテルグランヴィア京都
正副会長会議	11 月 28 日 (火)	財団会議室
第 55 回理事会	12 月 9 日 (月)	左阿彌
第 56 回理事会	平成 26 年 1 月 23 日 (木)	財団会議室

b) 異業種交流グループ交流会

開催日	内 容	場 所
平成 25 年 4 月 5 日 (金)	韓国 (社) 中小企業融合忠北連合会と異業種京都役員との交流	京都府産業支援センター5 階交流サロン
7 月 23 日 (火)	異業種京都の今後の方向性についてディスカッション 出席者：18 グループ・29 名	京都府産業支援センター5 階研修室
8 月 8 日 (木)	新市場開発研究会 8 月特別セミナー (異業種グループオープン参加)	京都商工会議所 3 階第 2 会議室
平成 26 年 3 月 24 日 (月)	異業種交流グループ交流懇談会 出席者：11 グループ・22 名	京都府産業支援センター5 階交流サロン

②異業種京都まつり

中小企業者を対象とする展示交流会「異業種京都まつり」の開催し、多様な企業の市場開拓、新たな連携・交流の場を提供した。出展者数は、過去最大規模となった。

表 50 第 17 回異業種京都まつりの開催結果

開催日・会場	内 容
平成 25 年 10 月 23 日 (水) ホテルグランヴィア京都	<p>①展示交流会 115 小間 (119 企業・団体・大学) ・参加者数：1,200 名 ・連携、交流件数：56 社 357 件 ・商談件数 26 社 56 件</p> <p>②セミナー 「お客様のところに届くものづくり」 講師：(独)中小企業基盤整備機構近畿本部 プロジェクトマネージャー ニノ宮 悦郎氏 <43 名></p> <p>③基調講演 「ヒット商品は女子高生・ギャルママに聞け」 講師：(株)サンクレスト 代表取締役 植田 実氏 <52 名></p> <p>④情報交流懇親会 <67 名></p>

③グループ活動への支援

中小企業グループによる自主的な研修や交流などの活動を支援し、グループにより規模や事業内容に違いがあるが、企業間の連携強化や経営知識の習得、経営の改善など、経営向上

につながる成果を上げている。

◆京都産業21環の会（KSR）の活動支援

異業種企業による交流事業及び企業連携によるグループ活動を主な事業とするKSR（会員数204社）の運営を支援。

表51 KSR交流事業の実施状況

開催日・会場	内 容	参加者
4月5日（金） 京料理いそべ（京都市東山区）	KSRミニキラメキ交流サロン 夜桜を楽しむ会	17名
6月14日（金） 京都センチュリーホテル	KSR定期総会 記念講演会 テーマ：「力の出し方 すべての人が持っている ～ 今できること。今だから出来ること ～」 講 師：てんつくマン 氏	74名
10月18日（金） ～19日（土）	KSRキラメキ交流サロン 綾部・城崎 北部合同事業：タマヤ(株)、グンゼ記念館、ゆとうや旅館	15名
11月22日（金） ～23日（土）	KSRキラメキ交流サロン 島根県 島根視察交流事業：(株)曾田鉄工、(株)小松電機産業	16名

表52 KSRグループ活動概要

グループ名	活 動 概 要
PS21 (Promotion Service)	企業のための“伝わる文章力”を学び、自分の言葉で独自性ある価値を見つけ具現化すべく活動した。全5回。
京都産業21環（リング）の会 ビジネスリンク	京都産業21環（リング）の会参加企業（約200社）の有志（ビジネスリンクメンバー）が営業情報（JOB案件）・技術情報・人材情報をメーリングリスト等を活用して、会員各社のビジネスチャンスの拡大と環（リング）の会の活性化を図っている。また毎月、例会も開催している。
経営革新グループ	京都府の「経営革新」承認を目指すグループ。各企業が経営計画を見つめ直し、新たに新事業を含めた経営計画を策定する。25年度は旧「知恵の会」から形を変える移行期間（会議&説明会）とし、26年度より経営革新グループとしての活動（勉強会）を開始する。

◆その他のグループ活動支援

「京都マネージメント研究会」「経営基盤強化研究会（K4）」「北部機械金属研究会」等の中小企業グループの運営支援。

表 53 グループ活動支援の実績

グループ名	活動支援		
京都マネージメント研究会	現場改善をテーマとする中小企業グループ（9社）による研究会活動を支援。 ・5S-5T研究会（年6回、メンバー企業において開催） ・トップ交流会（年8回、メンバー企業のトップによる情報交換会および経営革新勉強会を開催）		
	開催日	内容等	会場
	5月17日(金)	総会、工場見学	(株)日豊製作所
	6月11日(火)	トップ交流会（経営革新計画について）	(株)長濱製作所
	7月31日(水)	トップ交流会（経営革新計画について）	〃
	8月27日(火)	トップ交流会（経営革新計画について）	〃
	9月27日(金)	トップ交流会（経営革新計画について）	〃
	10月29日(火)	トップ交流会（経営革新計画について）	〃
	12月12日(木)	トップ交流会（経営革新計画について）	〃
	1月29日(水)	トップ交流会（経営革新計画について）	(株)日豊製作所
3月6日(木)	トップ交流会（経営革新計画について）	(株)桶谷製作所	
K4（経営基盤強化研究会）	素晴らしい経営を目指し、それに要する基礎知識や決断と実行の手段を養うため、メンバー（13名）が時間を共有しながら学んで行くことを目的として講師を招いての例会を開催。		
	開催日	テーマ・講師	会場
	4月6日(土) ～7日(日)	「吉田松陰の志と勤勉」に学ぶ ～言葉つき丁寧にして声低からざれば、大気魄は出するものにあらず～ 設立10周年記念旅行併催	山口県萩市等
	5月20日(月)	本年度の事業計画・予定検討会	(株)日豊製作所
	6月4日(火)	戦国武将に学ぶ経営戦略「黒田如水」 ～自らの壮大な夢を最後まで貫いた人生～	財団会議室
	7月3日(木)	革新と刷新のリーダーに学ぶ 「仕事の流儀」 河井継之助 ～北越の蒼龍！河井継之助が描いた夢～	〃
	8月6日(火)	・下半期の進め方について	嵐山
	11月11日(月)	会社を元気にするために 今、経営者として取り組むべきこと① 「お客様満足(CS)と社員の笑顔の追及 (ES)が会社を元気にする」 講師：ビジネスディベロップサポート 大軽 俊史	財団会議室
11月25日(月)	会社を元気にするために 今、経営者として取り組むべきこと① 「マーケティング感度・発想力の養成」 講師：ビジネスディベロップサポート	〃	

		大軽 俊史	
	12月9日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の反省と今後の課題 ・役員改選及び新規会員獲得の検討 	//
北部機械金属研究会	「お互いを深く知り本音の連絡が取り合える仲間を増やす」を重点活動として取り組む。		

(4) 産学公連携

ア 交流連携促進事業

産学・企業間連携ニーズ調査の実施

府内の製品開発型と思われる中小企業を対象に、企業訪問等により経営課題、産学・産産連携志向、ポストク採用意向などのニーズ情報を収集し、製品開発型企業のデータベースを構築するとともに、KIC-Net（京都イノベーション創出ネットワーク）への登録勧奨や関連施策の活用促進を行った。

また、製品開発型京都企業のオープンイノベーションや販路開拓を支援するためのツールとして、「製品開発型京都企業ガイドブック（ver.4）」（174社掲載・1,000部）を作成し、平成26年2月20日（木）～21日（金）に京都パルスプラザで開催した「製品開発型・京都企業展 in 京都ビジネス交流フェア2014」において、メーカーや産学連携・販路開拓コーディネータ等に配付した。

イ 産学公連携研究開発資金支援事業（京都府補助金 産学公連携研究開発資金支援事業補助金） 連携型イノベーション研究開発事業＜産学連携型＞（平成24年度）

平成24年度に採択した連携型イノベーション研究開発事業＜産学連携型＞は補助事業期間2年度目の事業に取り組んでいる。平成25年8月に中間検査を行い、事業の進捗状況についてヒアリングを行うとともに経費支出の検査を行った。採択事業者2社ともに順調な事業進捗状況であり、平成26年2月末の補助事業期間終了には技術目標を達成した。

表 54 連携型イノベーション研究開発事業＜産学連携＞（平成24年度採択分）

提案企業	テーマ	連携研究機関
(株)魁半導体（京都市）	織物型電極による粉体対応型3次元大気圧プラズマ処理装置の開発	京都大学
(株)ワイエムシィ（京都市）	マイクロフロー型自動タンパク質結晶化システムの開発	独立行政法人理化学研究所

（注）支援期間2カ年（24年度・25年度）、支援助成額3千万円以内

産学公連携研究開発資金支援事業（京都府補助金 連携型イノベーション研究開発事業補助金（産学連携プロジェクト形成・シーズ育成促進））

連携型イノベーション研究開発事業（産学連携プロジェクト形成・シーズ育成促進事業）は15件の応募があり、同事業審査委員会の審査を経て、11件を採択した。

表 55 産学連携プロジェクト形成・シーズ育成促進事業（平成 25 年度採択分）

提案企業	テーマ	連携研究機関
(株)ナールスコポーレーション	ストレスタンパク質の適応的細胞保護効果を活かした皮膚バリア機能増進物質の開発	京都大学
暁新日本建設(株)	塩分捕捉能に優れた新規マグネシウム系固化材の開発	京都大学
(株)栄養・病理学研究所	ブタへのワクチン接種効果を正確に確認するバイオマーカーの特定と評価法の開発	京都府立大学
(株)ファーマサイエンス	マイニング技術を使った生化合物の薬理性情報解析	京都大学
(株)エスエヌジー	シリカモノリスを応用した核酸医薬固相合成反応担体開発研究	京都大学
(株)リハビテック	ポア制御と立体成型を融合した革新的医療デバイスの創出	京都府立大学
抗菌化研(株)	錯形成を基礎とした生分解性有機無機複合ナノ粒子の開発	京都工芸繊維大学
(株)太鼓センター	和太鼓プログラムによる高齢者の健康増進と社会参加支援	京都大学
信和化工(株)	炭素材料被覆型多孔質シリカを用いた高性能GCカラムの開発	京都大学
(株)中藏	拡開型地中アンカーの開発	立命館大学
(株)アイトシステム	見守りデータを用いた初期認知症診断システムの開発	京都府立医大

（注）支援期間1年間（12カ月）（25年度・26年度）、支援助成額3百万円以内

産学公連携研究開発資金支援事業（京都府補助金 連携型イノベーション研究開発事業補助金（課題解決型研究促進））

連携型イノベーション研究開発事業（課題解決型研究開発促進事業）は 8 件の応募があり、同事業審査委員会の審査を経て、3 件を採択した。

表 56 課題解決型研究開発促進事業（平成 25 年度採択分）

提案企業	テーマ	連携研究機関
日本タブレット(株)	介護市場を見据えた、筋量維持・増進の機能性を有す黒ショウガ製剤の製品化に向けた研究開発	大阪府立大学
(株)カシフジ	内歯車の高能率歯切り加工法を用いた高剛性加工機の製品化	京都工芸繊維大学
(有)シバタシステムサービス	3次元形状軟骨の再生誘導を可能とする超微細加工装置の開発	近畿大学

（注）支援期間1年間（12カ月）（25年度・26年度）、支援助成額3千万円以内

(5) 試作産業総合支援事業（京都府補助金 京都企業ものづくり技術者等支援事業（試作技術開発サポート事業））

ア 試作パートナー企業グループの育成

昨年度、新たに発足したプラットフォームのブランド『京都試作ネット』及び京都試作センター(株)を中心とした京都試作プラットフォームの活動を積極的に支援した。

表 57 京都試作プラットフォーム（京都試作ネット）の状況

会 員 区 分	参 画 企 業 数
コアメンバー	30 社
参加メンバー	24 社
協力メンバー	37 社
合計	91 社

①試作グループ代表者会議

第 15 回 6 月 26 日（水）＜京都府産業支援センター5F 研修室＞

8 グループ（10 名）出席

- ・試作プラットフォームの活動経過について
- ・会員制度について
- ・試作グループの活動について

第 16 回 11 月 21 日（木）＜財団会議室＞

9 グループ・機関（18 名）出席

- ・京都試作プラットフォームの活動経過について～前回以降の経過報告～
- ・「京都試作」現状報告について
- ・会員制度について

②京都試作ネット理事会（試作プラットフォームを運営するコアメンバー（理事）による定例会議）

・定期総会：平成 25 年 5 月 30 日（木）＜京都府産業支援センター5F 研修室＞

・臨時総会：平成 25 年 9 月 26 日（木）＜山本精工(株)（宇治市）＞

・理 事 会：12 回開催（原則、第 4 木曜日、京都府産業支援センター5F 研修室にて開催）

③京都試作ネット『シルバー』会員会議

第 1 回 11 月 21 日（木）＜京都府産業支援センター2F 会議室＞

9 グループ・機関（22 名）出席

- ・京都試作センター(株)の現状と取り組みの報告について
- ・京都試作ネットの状況について
- ・京都試作センター(株)からのお願い事項について

第 2 回 平成 26 年 1 月 21 日（火）＜ 同 上 ＞

7 グループ・機関（15 名）出席

- ・京都試作ネット【G 会員】の状況報告
- ・京都試作センター(株)の現状について
- ・KSC 経由案件の処理方法について

第 3 回 平成 26 年 3 月 20 日（木）＜ 同 上 ＞

7 グループ・機関（15 名）出席

- ・京都試作センター(株)の活動報告について
- ・京都試作ネットの活動について

- ・KSC 経由案件の処理方法等について
- ④京都試作産業推進会議
- ・平成 26 年 2 月 20 日（木）〈京都パルスプラザ5階会議室〉

イ 試作サポーターによる技術力・受注力向上の支援

昨年度に引き続き、試作サポーター3名（大手製造メーカーOBの技術系経験者）を配置し、京都試作センター(株)へ派遣。試作発注案件の新規開拓をはじめ、各種試作案件の内容の分析及び適切な受託企業（パートナー企業）選定を支援するとともに、中小企業の技術力、経営力向上に向けての支援を行った。

〈試作サポーターの活動状況〉

相談件数：357件

〈内訳〉技術相談支援	104件
経営指導支援	181件
販路開拓相談	72件

ウ 試作新市場開拓の支援

コアメンバーを中心に、京都試作プラットフォームの統一ブランド「京都試作ネット」として、これまでの「試作加工」から“ものづくり”のプロセス全体をカバーする「開発試作」へと進化した新たな体制・組織をPRするため、地元京都をはじめ全国規模、海外の展示会への出展を支援した。

（展示会出展企業支援）

- ・シーテックジャパン 2013 10月4日(火)～8日(土)（千葉幕張メッセ）
- ・京都異業種京都まつり 10月23日(水)（ホテルグランヴィア京都）
- ・京都ビジネス交流フェア 2014～ものづくり加工技術展～
『京都試作ネット』ブース 2月20日(木)～21日(金)（京都パルスプラザ）

エ 産学連携事業の実施

（第3回）京都工芸繊維大学創造連携センター（KIT）・京都試作プラットフォーム（KSPF）連携交流会

実施日：平成 26 年 3 月 4 日（火）

場 所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館 2階大セミナー室

内 容：京都工芸繊維大学ベンチャーラボラトリー講演会・成果発表会

- ・講演Ⅰ テーマ：「超小型衛星が拓く新しい宇宙開発・利用・ビジネス」
講 師：中須賀 真一 氏（東大・工・航空宇宙工学専攻・教授）
- ・講演Ⅱ テーマ：「サイエンスマップに見る日本および主要国の動向」
講 師：阪 彩香 氏（文部科学省 科学技術政策研究所 主任研究官）
- ・成果発表 ①可視光通信による歩行者移動支援システム
②有機半導体結晶レーザー素子の開発
- ・ポスター発表、交流会

オ その他

- ◆人にやさしい介護支援機器開発プロジェクト運営協議会への参画・協力
京都府健康福祉部の事業である「人にやさしい介護機器開発プロジェクト」に参加要請

があり、京都試作センター(株)が試作品開発を担当

【平成 25 年度開発テーマ】

①腰痛防止対策プログラム

②安心・安全な浮水遊具

③歩くことをあきらめない歩行器（立ち上がりアシスト機能付き）

◆「モノづくり企業のための新成長分野参入セミナー2012 in 京都」開催

開催日：平成 26 年 1 月 16 日（木）

場 所：京都府産業支援センター 5階 研修室

参加者：再生医療分野に関心のある企業や組織、研究機関など 17 名

内容：各再生医療分野のテーマ発表及び個別相談会

- ・再生医療サポートプラットフォーム及び平成 25 年度地域新成長産業創出促進事業について
- ・再生医療分野のものづくりと薬事法改正について

(6) 新産業育成・地域振興

ア 京都元気な地域づくり応援ファンド事業（京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益）

平成 20 年度に造成した「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」（総額 50 億円）の運用益を活用し、地域力の再生につながる新しいビジネスに対し助成金等の支援を実施。

平成 25 年度から京都産業育成コンソーシアムにおける「京都知恵産業支援共同事業」として「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」と京都市の「知恵産業創造支援事業」の申請書受付から審査までを共同で実施した。

平成 25 年 4 月に公募を行い、府内全域から 160 件の応募があった。

書類選考の結果、75 社からプレゼンテーションを受け、56 件を助成対象事業者として採択した。（財団 41 件採択、京都市 15 件採択）助成総額は 71,600 千円（41 件）。

また、採択事業者について、専門家による継続的なハンズオン支援事業（申請者に対する専門家による支援）を実施するとともに、採択事業者からの成果発表を中心としたファンド経営塾を 3 回開催した。

表 58 平成 25 年度採択事業 助成総額 71,600 千円

事業者名	事業名
民谷織物	丹後織物を世界ファッション業界に活用するための開発と販売活動
養父織物	丹後の既成概念を破る、織りと染めを組合わせた「織染帯」の開発
(有)真鍋組	京丹後から全国へ！NET I S（衤込）登録補修工法で地域を豊かに
(有)丹後ジャージー牧場	府内初！自社原材料からつくる「手作りバター」の製造販売事業
白杉酒造(株)	京丹後市の老舗酒造が作る酒粕シフォンケーキの製造及び販売
三徳美健(株)	桑の小枝を原料とする認知症、糖尿病予防健康食品の研究開発、製造販売
まるいち丸	『車椅子の方や高齢者でも安心して利用できる釣り船と舟屋の宿』
WELDONE	新ジャンル自転車と自転車関連商品の製造販売（総合的プロデュースによるブランド力、プロモーション力強化）
(株)DIYSTYLE	ゆうさいくんの籠城シートの販路開拓事業（クッションシートの災害備蓄用販売）

大江観光(株)	大江山山麓から湧き出る自然水をボトルリング、「大江山鬼の力水」として販売
内藤印刷(株)	「市民参画」＋「明智かめまる」で「京都・亀岡ひとまち百景」を進化させ地域を元気に！（キャラクターグッズの販売ほか）
(株)前田組	ログハウス展示場を活用した子育て応援地域コミュニティ広場『癒しの空間』
京丹波キノコ園(株)	菌床によるきのこ類の大規模人工栽培及び販売
(株)ナンゴー	ステレオグラム立体造形物（特許技術）の商品開発、及び販路開拓
(株)ユースサイド	多品種小ロット生産の強みを活かして、京都の素材でマヨネーズを加工し、京都のブランドとして国内外に発信していく
サン・ウインド(株)	高機能断熱窓キット「エコ窓」の性能向上と「窓コンシェルジュサービス」の全国展開による販売開拓
特定非営利活動法人 JointJoy	社会の中で、食べるだけでボランティアできる便利なおにぎりづくり（障害者の雇用創出）
マテア	安心でおいしくて地域の人に喜ばれる『みかんロール』パンの製造・販売
(株)キャトルアイ・サイエンス	幻想的な空間を創出する重層型スクリーンによる地域観光資源の活用
(株)岩城製作所	ステンレス製インテリア雑貨・小物の開発と一般消費者向け販路開拓
P-SUPPORT(同)	燃焼機関における低炭素化促進と燃焼効率向上を計る機器の設計、販売
高橋練染(株)	生地整理加工技術を活かし、日本初の銀ナノ機能加工の開発・製造・販売
(株)KOYO 熱錬	次世代低燃費型航空機向けの新熱処理プロセスの導入及び販路開拓
(株)伊と幸	絹織物をガラス、アクリル、シート加工と融合した空間装飾材「絹ガラス」事業
スギシタ(有)	「デザイン×印染」でBtoCにトライ、Webサイトで海外販売へ
DariK(株)	オーダーメイド型チョコレートの開発と販路開拓
(株)田村屋	美山グリーンツーリズムプロジェクト：螢庵を中心とした地域活性化
大東寝具工業(株)	「ねむりの蔵」枕から住宅リフォームまで！睡眠環境の改善事業
竹中	革織物をはじめ多様な種類の異なる素材を織り上げることによる立体感と色彩感あふれる新しい織物及び製品の開発
相川建工	コンクリート境界ブロックのモルタル目地詰め新工法による目地枠の販売
特定非営利活動法人京都文化協会	日本美術の高精細複製品を用いた、展覧会とワークショップの開催
(株)京のちから	京丹波町・美山町の農家及び自社農園の京野菜・美山のたまごスイーツの販路拡大と増産による新規障害者採用の拡大
COSKYOTO(株)	海外市場における「文化ビジネス」の確立・拡大プロジェクト
[ふ]本舗	京都の伝統産業を利用したオリジナル布雑貨商品[ふ]本舗
(株)エクスクラメーション・スタイル	発達障害の方の特性を生かしたパソコン作業を通じた就労支援強化
特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所ecotone	事業所向けごみ減量方策「リユース食器システムパッケージ」の開発と販売
(株)エーアンドゼット	生物透明標本の樹脂封入技術の確立による新たな商品と市場の開発
(株)きたやま南山	赤身和牛と京野菜による「糖質オフ健康食」の普及と食育型集客
(株)キャピック	認知症の人たちが気軽に集える「オレンジカフェサロン」の設立
富田工藝	仏師・位牌師が造るアクセサリーの製作及び販売展開

(株)丸二	新技法による壁紙開発及び市場開拓で、次世代へ唐紙の活路を開く
-------	--------------------------------

①ハンズオン支援事業の実施

4月に4回の申請書作成サポート（専門家による指導）を実施。

企業ニーズに更に適応したハンズオン支援になるよう、専門家の人選や支援内容について工夫し、全採択事業者を対象に支援を実施した。

また、財団や関係機関の展示会、商談会等、採択事業者に役に立つと思われるに事業に誘導するとともに、有効な情報の提供に努めた。

②創業者の掘り起こし

次年度以降のファンド申請者の掘り起こしのため、府内商工会が主催する創業塾で創業者に対する事業PRを行った。

③ファンド経営塾の開催

ファンド採択事業者の貴重な経験を他の採択事業者に公開していただくことで、生の経営を学習する場となり好評を博しており、本年度は3回実施した。

表 59 ファンド塾開催実績

回	開催日	開催場所	テーマ・講師
第1回	9月27日	京都府産業支援センター	「あなたの事業を応援する新しいツール」 NPO 法人ミラツク代表理事 西村勇也 氏
第2回	10月18日	〃	「お客様に好感を与えるマナー講座」 IFアカデミーエグゼクティブインストラクター 潮先恵美子 氏
第3回	11月29日	〃	「国内外の展示会を上手に活用する方法」 COSKYOTO (株) 北森 功 氏、 NPO 法人京都匠塾 葛原健太 氏

④イベント出展	異業種京都まつり（10月）	13社
	大阪商工会議所商談会（10月）	1社
	京都中央信用金庫商談会（10月）	3社
	農林水産フェスティバル(12月)	5社
	天空マルシェ(1月)	2社
	東京インターナショナルギフト・ショー（2月）	8社
	京都ビジネス交流フェア（2月）	10社

イ きょうと農商工連携応援ファンド事業（京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益）

「きょうと農商工連携応援ファンド(25.2億円)」の運用益を活用し、農林水産業者と中小企業者が連携して、新たに取り組むビジネスを支援するための助成を行った。

平成25年度は3月から公募を行い、21件の応募があり、審査の結果17件の助成対象事業を採択した。採択企業に対しては、イベント等の情報を提供するとともに交流会を開催した。

表 60 平成25年度採択事業 助成総額 37,419千円

事業者 (上段：代表者)	事業テーマ
JA全農京都	京の肉、及び宇治茶や京野菜を使用した『京尽くしレトルト』

(株) サノ・コーポレーション	カレー』の開発・販売
(株) 三煌アグリブレンシステム (株)大円	パープルスイートロード（紫芋新品種）の新製品開発と販路拡大
柑橘館：河田商店 京都柚子の会	京都府（綾部、亀岡、水尾）産の未利用ユズ皮を使った商品の開発と販売
(有) 市與 京和あずま(株)	茶園の食べるお茶！お茶を飲むように楽しめるソフトキャンディの商品化
協栄建設(株) 志賀郷地区自治会連合会	放置間伐材を活用した戸建住宅基礎地盤補強工法
(合) 京都抗酸化食品開発研究所 森口農園 森口半一	宇治田原特産つるの子柿の皮を活用した抗酸化食品の開発
上野農園 上野秀一 ローズカフェ	こだわり京北野菜を利用した「土」と「森」の融合メニュー試作開発事業
中弥 中島農園 AGサービス(株)	規格外商品の有効活用「京野菜のお茶、いかがどす!？」
(株)エーゲル 上野農園 上野進	京都・けいほく 宇津の『自然薯』産地化とブランディング
孫右衛門(株) (株)フタバ	自園の碾茶を使った輸出向けフレーバー茶のティーバック開発
瑞穂農林(株) (株)山政	機能性発酵飼料を活用した新たな地域ブランド家畜の創造
瑞穂農林(株) 丹波ワイン(株)	京丹波産大粒丹波しめじ、京丹波産大黒ホンシメジの燻製製品等の開発
(株) 京都ハバナノの里 マルミフーズ(株)	メキシコ唐辛子 ハラペーニョの食品加工と販路拡大
(株)京都紀翔 上香園 岡田文利	宇治茶や京野菜を使ったカラフルな京の野菜ケチャップの開発
(株) 農業法人ふるる 佐藤正之	舞鶴産農産物を活用した「身土不二のスープコーナー」展開事業
農家レストランサラサ 田中正美	福知山発祥「坊ちゃんかぼちゃ」地域特産化に向けた新商品開発
白岩恒美農園 白岩恒美 七彩の風 浜の路 臨江庵	丹後梨加工品開発と、温泉、料理、農業体験を一体としたサービス商品の開発

①販路拡大支援

- ◆「京のふるさと出会い市」駅ナカでの販売
 - ・4社が延べ19日間 販売売上734千円

②交流会の開催

<1回目>

開催日：平成25年7月30日（火）<KRP 4号館ルーム2>

参加者：41名

内 容：自己紹介、情報交換、交流懇親会

<2回目>

開催日：平成26年3月19日（水）<京都テルサ 中会議室>

参加者：31名

内容：講演（日本料理アカデミー）、ファンド開発商品の試食・交流

ウ 京都企業創造ファンド事業（京都府寄附金 京都企業創造ファンド事業出資金）

<京都企業創造ファンドの運営協力>

将来性の高いアーリーステージのものづくり系ベンチャーに積極的な資金提供を行い、京都経済を支える波及効果の高い発注型ものづくり系企業を育成することを目的として実施した。

なお、ファンドの終期を平成26年末に控え、残存期間中の新規投資企業の上場は考えにくいことから今後の新規投資は停止している。

投資支援件数 33件

エ ベンチャーソフト支援事業（京都府補助金 京都成長促進等総合支援事業補助金）

京都府けいはんなベンチャーセンター入居企業（以下、入居企業）をはじめベンチャー企業等の研究開発を効果的に支援し、円滑な事業化を実現するため、経営・技術の各種専門家の派遣やマッチング事業を実施し、ベンチャー企業へのソフト面の支援を行った。

表61 産学交流会

区分	実施日	内容	参加者
第1回 京都大学宇治キャンパス(エネルギー工学研究所) 産学交流会	平成25年 6月28日	【講演】 1.「核融合エネルギーの現状と展望」 京大エネルギー工学研究所 教授 長崎百伸 2.「1分子のタンパク質を操作する：バイオエネルギー研究の新しい展開」 同大学 同研究所 教授 森井 孝 【産学連携の事例紹介】 「石炭ガス化発電プラント用高温特殊バルブと材料」 (株)ケイヴィシー 代表取締役 小林 紘一 【参加企業プレゼン】 【施設見学】	71名
京都企業と京大 若手研究者との 交流カフェ	7月26日	京大大学院生などの若手研究者などを対象に京都企業が自社製品またはポスター等展示による企業(技術)紹介を行い、交流を図った。	109名
第2回 京都大学宇治キャンパス(生存圏研究所) 産学交流会	10月3日	【講演】 1.「セルロースからの白金フリー燃料電池用電極の可能性」 京大生存圏研究所 講師 畑 俊充 2.「木材で建物を作る：木造建築の伝統と最新技術」 同大学 同研究所 助教 北守顕久 【産学連携の事例紹介】 「円偏波無指向性アンテナについて」 (株)ナガラ電子工業 代表取締役 田井中國昭 【参加企業プレゼン】 【施設見学】	52名

同志社大学・けいはんな産学交流会	10月29日	【講演】 1.「超音波が拓く生体計測技術」 同志社大学 生命医科学部 教授 秋山いわき 2.「アンチエイジングドッグ・検診の研究開発と企業の取組」 同大学 同学部 教授 米井嘉一 【産学連携の事例紹介】 「同志社大学糖化ストレス研究センターとの連携による新受託サービス」 エイキット(株) マネージャー 内藤淳子 【参加企業プレゼン】 【施設見学】 講師研究室	74名
第3回 京都大学宇治キャンパス(防災研究所) 産学交流会	12月6日	【講演】 1.「建物の強風災害に備える」 京大防災研究所 教授 丸山 敬 2.「情報通信技術の高度化と災害対応への応用」 同研究所 准教授 畑山満則 【産学連携の事例紹介】 「水害から暮らしを守るーフラップゲート式防潮堤ー」 日立造船(株) 防災ビジネスユニットフラップゲート部開発・設計 G グループ長代理 木村雄一郎 【参加企業プレゼン】 【施設見学】	47名
第4回 京都大学宇治キャンパス(化学研究所) 産学交流会	平成26年 2月24日	【講演】 1.「有機ELの原理」 京大化学研究所 助教 福島達也 2.「有機エレクトロニクス材料のための分子デザイン」 同研究所 准教授 若宮淳志 【産学連携の事例紹介】 「有機薄膜太陽電池開発における産学連携の実例紹介」 住友化学(株) 筑波開発研究所 主席研究員 吉村研 【参加企業プレゼン】 【施設見学】	62名

◆産業財産権相談会（けいはんなプラザ）

発明と産業財産権（特許等）についての無料個別相談会の開催

第1回 平成25年7月18日 相談企業 3社

第2回 平成26年1月16日 相談企業 1社

◆ベンチャー企業専門家派遣

ベンチャー企業インキュベーション施設入居企業が研究開発を進める過程において事業化をよりスムーズに進めるため専門家を派遣した

派遣企業 6社 延べ26回

オ 農商工等連携支援事業の支援

平成20年7月に施行された「農商工等連携促進法」に基づき、中小企業者と農林漁業者が連携して行う取り組みに対して、関連諸施策の広報・普及と相談対応、認定企業のフォローアップを行い、意欲的な中小企業者と農林漁業者の取組みを支援した。

現在までの認定数

農商工等連携事業計画の認定件数

京都府 17 件（H25 1 件）

カ けいはんな・南部地域支援事業

京都府けいはんなベンチャーセンター入居企業（以下、入居企業）をはじめ府南部地域企業を対象に京都府中小企業技術センターけいはんな分室、京都府山城広域振興局、けいはんな新産業創出交流センター等と連携し、学研都市地域における産学連携・産産連携を推進した。

また、各種助成金の共同申請、経営革新計画等の認定推進等の支援を行った。

- ◆「けいはんなビジネスメッセ（7月19日、けいはんなプラザ）」総合展（入居企業等13社出展）等で販売促進・ビジネス交流等を支援。
- ◆「中小企業ステップアップ事業」活用促進 10社支援
- ◆入居企業・卒業企業等による自主的連携・交流グループ（24社）「けいはんなラボコミュニティ」の月例会等で当財団の支援事業等を紹介（6回）。また、当グループの紹介パンフを作成し、同会のPRに努めた。
- ◆入居企業等にメールマガジンによる補助金・経営等に関する情報提供
- ◆「クリエイティブ京都 M&T」紙面で2社を紹介
日本制御(株)、ゼネラルプロダクション(株)
- ◆平成21年度戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省委託事業）のフォローアップ
「大型表示パネル用3Dセンサーの高精細化・高機能化」の補完研究推進支援
（H21年度採択、委託金額約3,200万円の補完研究推進
（有）イーダブルシステム、日本電気化学（株）、ゼネラル（株）
- ◆山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部
山城地域において、積極的に事業を展開しようとする中小企業が、自らの強みを強化、弱みの補完・克服を目指し、自発的な交流・連携及び経営革新を図るためのきっかけとなる「場（機会）の提供」を趣旨として事業を実施した。

表 62 平成 25 年度交流連携サロン

区 分	実施日	内 容	参加者
山城ものづくり企業 オンリーワン倶楽部事業 (会員企業数91社)	平成 25 年 7月 23 日	第8回交流連携サロン 【講演】 「さらなる販売拡大に向けて～企業・商品価値を決める広報戦略～」 (株)ロマンライフ 広報秘書室長 五十畑 哲 【会員プレゼン】 泉工業(株) 専務取締役 福永 順	27 名
	9月 12 日	第9回交流連携サロン 【講演】 テーマ：「東南アジアの魅力～販路拡大を目指して～」 講 師：外務省特命全権大使（関西担当） 小島誠二 【会員プレゼン】 三和研磨工業株式会社 代表取締役 竹ノ内壮太郎 (有)ケーワイ商会 代表取締役 山田 一徳	31 名

	11月25日	第10回交流連携サロン 【講演】 テーマ：「京料理的経営術～伝統と革新の新たなとらえ方～」 講師：料亭木乃婦 代表 高橋拓児 【会員プレゼン】 早蕨山荘 赤政 代表 福永隆至 (株)ミツワ製作所 常務取締役 原田泰幸 玄米屋ウエトミ 店舗運営責任者 上田那未	76名
--	--------	--	-----

◆けいはんなフロンティア産業フォーラム2013

今後、発展が期待される「次世代電子デバイス」をテーマにフォーラムを開催した。

実施日：11月29日 会場：けいはんなプラザ 出席者：88名

【講演】

1. 「光を利用した有機半導体材料の開発」
奈良先端科学技術大学院大学 教授 山田容子
2. 「電子デバイスを創りだす物質分子の仕組み」
大阪大学 名誉教授 柳田祥三
3. 「パワー半導体SIC実用化のみちのり」
京都大学 名誉教授 松波弘之

【企業プレゼン】

1. 「蓄光製品の開発、製造、販売」 (有)岩本製作所
2. 「ローソク、燭台と環境エネルギー機器の開発、製造、販売」 (株)イーコンセプト
3. 「LED応用機器の開発、製造、販売」 エーシック(株)
4. 「プラズマ照明の輸入販売、LED製品の企画、開発、販売」 オーウェル(株)
5. 「プラズマシステム、半導体製造装置の開発、販売」 (株)魁半導体

(7) 京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

本プロジェクトは、京都府が、厚生労働省の「戦略産業雇用創造プロジェクト」の採択（平成25年7月・全国11地域）を受けて、京都市をはじめとする産学公・公労使の「オール京都」体制のもとで、京都の強みを活かした成長分野である「次世代ものづくり産業分野」（対象19業種）を対象に、産業政策と雇用政策を一体的に推進することにより、新事業創造と雇用創出を目指すもの。（※事業期間：平成25年度～27年度）

※次世代ものづくり産業分野

- ・社会課題対応分野：「エコ・エネルギー」、「ライフサイエンス」
- ・生活価値向上分野：「クロスメディア・コンテンツ」、「新文化産業」
- ・分野融合基盤機能：「ICT」（情報通信）、「試作」

ア 事業概要

①事業主体：京都府

※財団は、本プロジェクトの統括機関として、京都府等から事業受託等（一部を関係機関に再委託）

②推進主体：京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進協議会

※府（会長：副知事）、京都市、労働局、経産局、経済団体、労働団体、産業支援
機関、金融機関、大学、企業等で構成（統括機関：京都産業 21）

③総事業費：約 24 億円（国補助金：8 割、地元負担：2 割（府、京都市））

※H25 年度：約 4 億円

※H26・27 年度：各約 10 億円

④アウトカム目標（雇用創出人数）：2,000 人（正規雇用 1,600 人以上）

※H25 年度：400 人、H26・27 年度：各 800 人

⑤主な事業内容

◆産業支援機関の機能強化による連携促進

- ・専門コーディネータによる新事業創造、雇用創出の取組支援
- ・分野融合促進のための各種事業実施（セミナー、商談会等の開催）

◆次世代ものづくり産業を担う人財確保・人材育成、正規雇用化促進

- ・専門コーディネータによる人財確保の取組支援、セミナー開催等
- ・求職者に対する実践型訓練（OJT）による人材育成、就職支援

◆雇用創出に取り組む企業の成長支援

- ・新事業創出の担い手となる高度人材確保支援（人件費補助）
- ・付加価値の高い事業創出をプロデュースできる高度専門家派遣

イ 財団の取組

①プロジェクト統括マネジメント事業

◆統括事務局「プロジェクト推進センター」開設（25.10.10）

- ・推進協議会、幹事会、タスクフォース会議の開催等により、事業進捗管理、横断連携・調整等を実施した。

※推進協議会（会長：山下晃正京都府副知事）、幹事会（田中準一京都府商工労働観光部長）、タスクフォース会議（プロジェクトディレクター：西口泰夫京セラ㈱元代表取締役社長）

◆高度人材確保支援事業

- ・新事業創造をプロデュースできる高度人材確保の支援を実施した。（人件費補助）

※補助金上限 2,000 千円/人×2 人まで、補助率 80%、ただし、事業終了時までに正規雇用創出が達成できない場合は、補助率を 40%に減少

14 件 21,523 千円

◆高度専門家派遣支援事業

- ・新事業創造に向けた課題解決や取組を指導・助言する高度専門家派遣による支援を実施した。

※上限 10 万円/回×6 回まで

48 件 260 回

②アライアンス事業

◆国内外大手企業との事業アライアンスや販路開拓等の支援を実施した。

※各種セミナー開催（2/17、2/20、2/27、3/6、3/13）

※海外ニーズ調査（ドイツ）実施

※海外進出ガイドブック作成

③ライフサイエンス事業

◆ライフサイエンス分野（医療、介護、健康、福祉等）への参入支援を実施した。

※「医療・介護機器等相談窓口」設置（1/14～）

※各種セミナー開催（1/30、2/21、3/12）

※京都ライフサイエンス産業連絡会議開催

※府内有力企業発注ニーズ調査実施

表 63 企業訪問件数（延べ）

（件・人）

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	雇用創出人数
推進センター	22	55	39	49	101	91	357	153
アライアンス事業	0	39	40	30	34	39	182	38
ライフサイエンス事業	0	0	7	19	44	69	139	62
計	22	94	86	98	179	199	678	253

ウ 事業一覧

表 64 事業別実施機関

分野	事業名	事業実施機関
産業支援機能 の強化による 連携促進	●プロジェクト統括マネジメント事業	京都産業21
	●事業アライアンス支援事業	
	●ライフサイエンス分野支援事業	
	●エコ・エネルギー分野支援事業	京都産業エコ・エネルギー推進機構
	●けいはんな異分野融合地域モデル事業	関西文化学術研究都市推進機構
	●新文化産業分野支援事業	京都試作センター
	●試作・戦略的受発注推進事業	
	○クロスメディア・コンテンツ分野融合支援事業	京都クロスメディア・クリエイティブセンター（仮称）
	●コンテンツを活用したキャラクター商品化事業	<略称：KCC>
●京都ICTプラットフォーム整備事業	京都高度技術研究所	
人財確保 ・人材育成	○ものづくり企業人財確保支援事業	京都ジョブパーク
	○ものづくり産業未来人材育成事業	
	●高度分析試験機器利用促進・人材育成事業	京都高度技術研究所
	●若手職人等の自立・創業就業支援事業	京都試作センター
企業成長支援	●高度人材確保支援事業	京都産業21
	●高度専門家派遣支援事業	

エ 事業実施状況

■アウトカム（雇用創出人数）

実績 505 人 / 目標 400 人（平成 25 年度）

4 庶務

(1) 理事会、評議員会

ア 理事会の開催状況

第11回 平成25年6月5日(水) 京都リサーチパーク1号館4階AV会議室

- ◆平成24年度(公財)京都産業21事業報告について承認を求める件
- ◆平成24年度(公財)京都産業21決算について承認を求める件
- ◆第8回評議員会の開催について

第12回 決議の省略

- ◆理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案1

- ① 理事 村田恒夫を代表理事に選定し、理事長とすること。
- ② 理事 小谷真由美を副理事長に選定すること。
- ③ 理事 齋藤茂を副理事長に選定すること。
- ④ 理事 辻理を副理事長に選定すること。
- ⑤ 理事 三田康明を業務執行理事に選定し、専務理事とすること。
- ⑥ 理事 加藤新八を業務執行理事に選定し、常務理事とすること。

上記の提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日は、平成25年6月20日とすること。

提案2

- ① 石田明前理事長を、財団顧問に委嘱すること。

上記の提案について理事会の承認があったものとみなされる日は、平成25年6月20日とすること。

第13回 平成26年3月4日(火) 京都リサーチパーク4号館2階 ルーム2

- ◆平成26年度(公財)京都産業21事業計画について承認を求める件
- ◆平成26年度(公財)京都産業21収支予算及び資金調達並びに設備投資の見込みについて承認を求める件
- ◆平成25年度(公財)京都産業21収支補正予算について承認を求める件
- ◆(公財)京都産業21資金運用規程の制定について決議を求める件
- ◆(公財)京都産業21諸規程等の一部改正について決議を求める件
- ◆(公財)京都産業21就業規則の一部改正の専決処分について同意を求める件

イ 評議員会の開催状況

第8回 平成25年6月20日(木) 京都府産業支援センター2階 財団会議室

◆議案

- 第1号議案 平成24年度公益財団法人京都産業21決算について承認を求める件
- 第2号議案 次期理事19名の選任について
- 第3号議案 次期監事2名の選任について

(2) 第3次中期計画「3力年の数値目標」(平成24年度～26年度)の実績状況

重点サービス	目標項目	23年度実績	24年度		25年度		26年度目標
			目標	実績	目標	実績	
(財団全体)	企業訪問数	3,851	4,000	3,942	5,000	4,342	6,000
	新規登録企業数	20	100	57	200	194	300
販路開拓	商談機会の提供(商談件数)	3,773	4,000	4,639	4,500	4,508	5,000
連携強化	企業連携等マッチング(紹介件数)	186	200	134	250	422	300
経営力強化	フォローアップ活動件数	120	250	685	300	783	400
情報提供	メールマガジン配信先数	8,000	9,000	10,300	10,000	11,400	11,000
相談	相談件数	8,877	9,000	8,268	9,500	12,471	10,000

(3) 人材育成研修

ア 派遣研修

◆中小企業大学校等へ職員を派遣 12回(延べ13人)

相談支援スキル向上研修

農商工連携・地域資源支援事業の活用支援

販路開拓支援の進め方

経営革新の計画と支援

企業の目利きと経営支援のポイント

支援者のための経営改善手法講座

市町村等産業振興関係者研修

新商品開発支援の進め方

中小企業の海外展開支援の進め方

中小企業経営診断セミナー

研究開発マネジメント

◆平成25年度全国中小企業活性化シンポジウム 5名派遣(財)中小企業総合研究機構主催

◆製造業のためのWEBマーケティング活用セミナー 1名派遣(株)京都銀行主催

◆簿記の基本と決算書の読み方研修 1名派遣(京都市)京都府職員研修・研究支援センター

◆公益法人会計・税務研修 1名派遣(公財)全国中小企業振興協会主催

◆経営改善・事業再生研修(独)中小企業基盤整備機構主催

[基礎編] 2名派遣、[実勢力向上編] 2名派遣、

[個別分野コース・経営改善等計画策定演習] 1名派遣

イ 職員研修

人権問題職員研修(第1回31名、第2回61名)

健康管理セミナー(第1回31名、第2回64名)

ウ スキルアップ研修会

- ◆民間からの出向者による報告会を開催 21名
- ◆「財団会計規程に基づく契約事務について」を開催 24名
- ◆職員対象ホームページ作成講座を開催 6名(2日間)
- ◆職員対象接遇研修を開催(中セン合同) 24名(2日間)
- ◆京都府内産業支援機関等の支援策及び取組について 2回(各26名)
- ◆職員を講師とした勉強会を開催 2回(22名、23名)

(4) 会員の状況

会員区分		25年3月	継続加入	区分変更	新規加入	26年3月	前年度比
KIIIC 会 員	大会社	20	20			20	
	中会社	52	51	▲1		50	▲2
	小会社	32	32	▲2	2	32	
	グループ	40	35	2	2	39	▲1
	計	144	138	▲1	4	141	▲3
賛助会員		52	49	1	5	55	3
合 計		196	187		9	196	0
		▲9					

新規加入に注力し9社増加したが、経営環境の厳しさ等から9社の退会があった。

(資料)

財団の現況

- 設立 平成 13 年 4 月 1 日
- 基本財産 2 億 1 千万円
- 役員 顧問 4 名、理事長 1 名、副理事長 3 名
専務理事 1 名、常務理事 1 名、理事 13 名、監事 2 名
- 職員 (平成 26 年 3 月 31 日現在) 116 名
＜内訳＞
 - ◆常勤職員数 51 名【プロパー 17 名、府派遣 16 名、府 OB 4 名、財団 OB 1 名、民間出向 7 名、京都市出向 1 名、市町村研修生派遣 4 名、民間 OB 1 名】
 - ◆派遣・臨時職員 43 名
 - ◆相談員 3 名
 - ◆ビジネス・スーパーバイザー 3 名
 - ◆コーディネータ等 16 名

○組織体制

